

ひっとスラン 港北

港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画



©横浜市港北区ミズキー

港北区役所・港北区社会福祉協議会

<平成 27 年度版>

目 次

第1章 「ひっとプラン港北」区全体計画

- 区全体計画 平成27年度の主な取組 1

第2章 13地区計画

- 日吉地区 光と活力に満ちあふれる日吉 10
～一つひとつの活動が光り、大きな活力に発展するまち～
- 綱島地区 元気でふれあうまち 綱島 12
- 大曽根地区 いつまでも住んでいたい町 ハートフル大曽根 16
- 樽町地区 思いあいのまち 樽町 18
- 菊名地区 みんなで支えあうまちづくり 22
- 師岡地区 わが町師岡 ー安全・安心・住みよい町づくりー .. 26
- 大倉山地区 『あいの町大倉山』 30
ーふれあい・支えあい・助けあいー
- 篠原地区 「わがまち篠原」 34
- 城郷地区 たすけあうまち城郷 38
- 新羽地区 「和・輪・話」のまち につば 42
平和・福祉の「和」、みんなが手をつなぐ「輪」、
みんなが話し合う「話」
- 新吉田地区 いいな！みんなのまち新吉田 46
- 新吉田あすなろ地区 ... もっと・ホットに「あすなろ」 48
- 高田地区 みんなが笑顔、助け合いのまち高田 52

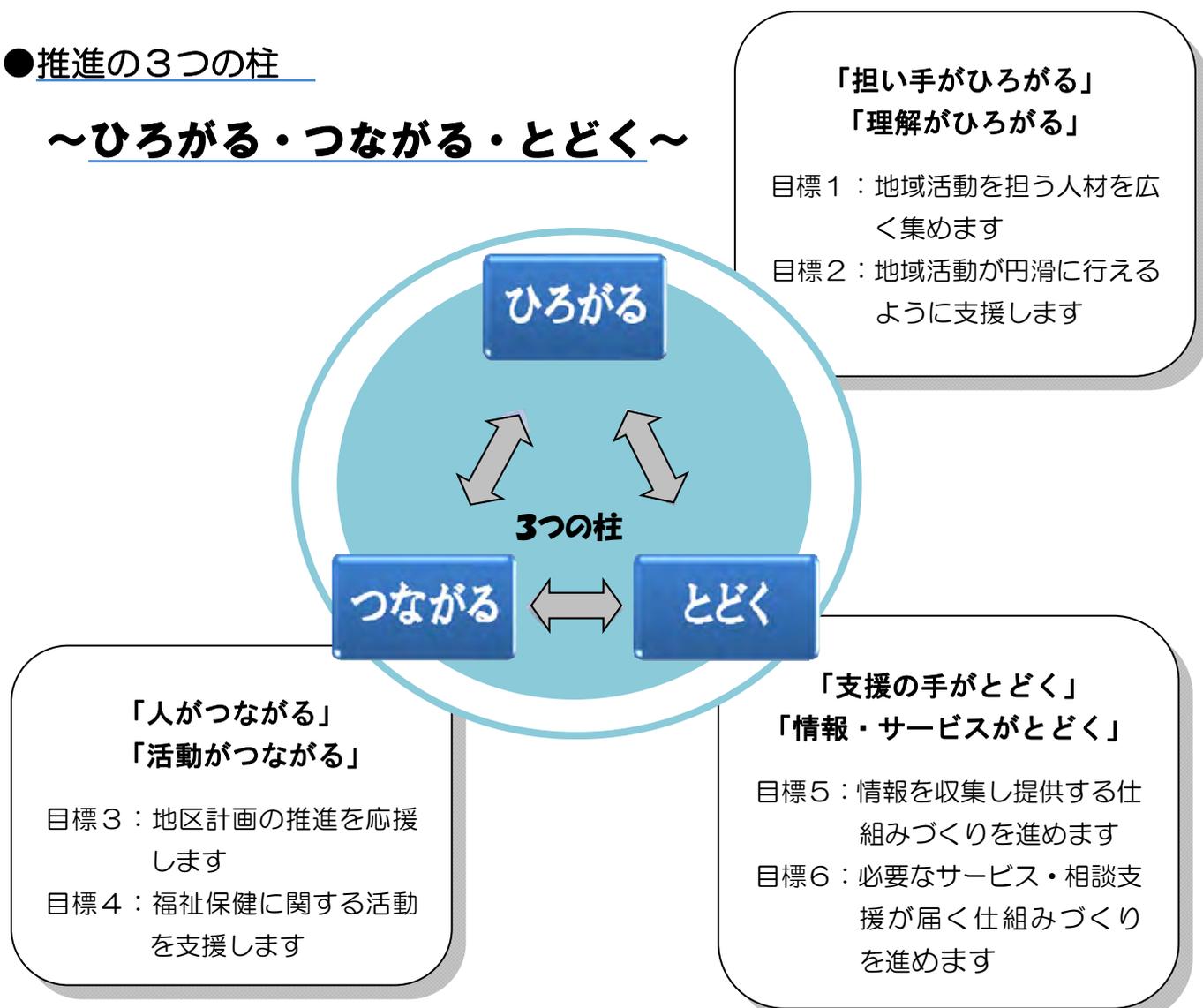
「ひっとプラン港北」区全体計画 平成27年度の取り組み

「ひっとプラン港北」は推進の最終年度を迎えました。区役所（以下、区）と区社会福祉協議会（以下、区社協）は、「ひろがる」「つながる」「とどく」の3つの柱と6つの目標に沿って、区全体を推進しながら地区計画推進支援にも取り組んできました。

今年度は計画推進とあわせて次期（第3期）計画の策定を行います。引き続き各分野における取り組みを進めるとともに、次期計画に引き継がれる課題をきちんと整理し、それらの課題と今後の地域状況の変化に対応する取り組みを、地域と共に検討していきます。

●推進の3つの柱

～ひろがる・つながる・とどく～



区全体計画 6つの目標



目標1 地域活動を担う人材を広く集めます

- 様々な機会を通じて担い手の育成に取り組みます。
- 地域での福祉保健活動を支えるコーディネーターを育成します。
- 地域で活動している個人・団体が、交流することによって課題の共有や協働のきっかけとなるような機会を増やします。

目標2 地域活動が円滑に行えるように支援します

- 個人情報正しい理解のもとに活用され、地域での見守り活動が円滑に進むよう、日頃から地域の自主的な支えあいの取り組み等を支援します。
- 補助金交付や広報、団体同士の交流の場づくりなどを行うことにより、地域の方々が取り組む活動の活性化と継続への支援を行います。



目標3 地区計画の推進を応援します

- 区・区社協・地域ケアプラザ等の職員が連携して地区計画推進を支援します。
- 活動の広報や担い手の育成、新たな組織との連携支援などによって活動の拡がりを促します。

目標4 福祉保健に関する活動を支援します

- 次世代を担う子どもたちが、地域で見守られながら健やかに育つよう、子育てを地域全体で支えるしくみを整えていきます。
- 多くの人に関心を持ち、参加しやすい健康づくりをテーマとした取り組みを、地域の人材と連携しながら実施していきます。
- より身近な地域で住民同士が活発に活動し、交流するための場や機会を増やしていきます。
- 支援が必要な人を支える人たちが連携できるよう、支援者同士の交流や課題共有の場をつくります。また、支援者のスキルアップを図ります。



目標5 情報を収集し提供する仕組みづくりを進めます

- 高齢者や障がい者、子育て中の世帯などに、正確でわかりやすい情報を提供していくとともに、より「とどきやすい」方法を検討します。
- ホームページや広報紙などを通じて地域の福祉保健活動に関する情報を提供し、活動の活性化や担い手の拡充を図ります。
- 技術的支援や仲間づくりなどを通じて、福祉保健活動に関する地域の方々自らの情報発信を支援します。

目標6 必要なサービス・相談支援が届く仕組みづくりを進めます

- 地域と支援機関が連携し、ひとり暮らし高齢者等の支援が必要な人を見守る仕組みをつくります。
- 日常的な近所づきあいが安全で安心なまちづくりにつながることや、問題の早期発見の必要性を啓発します。
- 高齢者や子育て世帯などが地域で孤立することなく生き生きと暮らせるよう、地域の方々との交流の場づくりや互いに助け合う活動の支援、相談支援の充実を図ります。
- 障がいや認知症などについて関心と理解を深めるための啓発を行い、誰もが地域で安心して暮らせる地域づくりを進めます。
- 大学やNPO・地域と協働し、生活困窮世帯への学習支援を継続していきます。

目標 1：地域活動を担う人材を広く集めます

地域の福祉保健活動を担う新たな人材の育成や交流を行い、担い手の拡充を図ります。

取り組みの方向性

- 地域課題に応じたセミナーや研修の実施を通じて幅広く人材を集めます。
- 区ボランティアセンターに登録している活動者の情報を、ボランティアをコーディネートする施設同士が共有し、連携を強化します。
- 幅広い世代に向けた福祉教育の実施を支援し、次世代の担い手育成につなげます。

平成 27 年度の主な取り組み

●担い手の育成・発掘

- ・ボランティアセンター機能の充実
地域ケアプラザ等のボランティアコーディネートを行う施設との連携強化。
- ・ボランティア講座、セミナー
テーマを明確にした実践的な講座の実施（傾聴講座、精神保健福祉ボランティア講座）。
障がい児の移動に関する出張セミナーと体験ボランティア、見学会の実施。
- ・ボランティア情報の発信
ボランティアセンター通信発行やホームページの活用。
- ・人材育成研修
地域活動団体や人材のコーディネートを期待される職員等を対象とした研修。
- ・若い担い手の育成
夏休みおよび春休み期間中の学生ボランティア体験『ボラリーグ☆こうほく』の実施。
学齢障がい児夏休み余暇支援事業『こうほく☆なつとも』に参加するボランティアに向けた障がい理解の講座の開催。
- ・福祉教育の推進
学校および企業向け啓発パンフレットの作成。

●担い手の交流

- ・ボランティア交流会
障がい児者の移動に関するボランティア活動者の交流会。
- ・『地域のチカラ応援事業』団体交流会

目標 2 : 地域活動が円滑に行えるように支援します

地域での見守り活動等が円滑に行われるような仕組みづくりを支援します。
また、地域の福祉保健活動が活性化するような支援を行います。

取り組みの方向性

- 災害時要援護者名簿が活用され、より実質的な取組につながるよう、地域ごとの実情にあわせた支援を行っていきます。
- 活動経費を助成している団体同士のネットワークづくりや活動継続のための支援に力をいれていきます。

平成 27 年度の主な取り組み

●地域活動が円滑に進むための環境づくり

- ・災害時要援護者名簿の地域への提供と取組の支援

「同意方式」による地域への名簿提供の他、希望する自治会町内会には「情報共有方式（※）」による名簿提供も可。

区地区担当（地域力支援チーム）による取組支援。

※横浜市震災対策条例に基づき、本人からの拒否の申し出がない限り行政が保有する要援護者の情報を地域に提供

●福祉保健活動の支援

- ・『地域の子カラ応援事業』（補助金交付、後援名義使用承認）

チャレンジコース（補助金上限 30 万円）福祉保健分野の 3 事業に補助金を交付。

（全 45 事業）

- ・『港北みんなの助成金』

250 件（助成額 20,471,430 円）の事業に助成を決定。

目標 3 : 地区計画の推進を応援します

地区ごとの特徴や課題に応じて地域の方々が主体となって進める活動を支援します。

取り組みの方向性

- 平成 28 年度からの第 3 期「ひっとプラン港北」策定を通じて、地域活動の活性化と、住民同士が地域の課題について広く検討する場づくりを進めます。

平成 27 年度の主な取り組み

●地区計画策定・推進支援

- ・ 第 3 期計画策定支援
地区担当（区、区社協、地域ケアプラザ）による策定支援。
- ・ 平成 27 年度版地区計画書配布
自治会町内会を通じた全戸配布。発行部数約 13 万部。
- ・ 『港北ほくほくフェスタ』 10 月 23 日（金）開催予定
13 の地区ごとに第 2 期計画の成果と次期計画での取組の方向性を発表。（予定）

目標4：福祉保健に関する活動を支援します

地域の方々や団体が交流する場をつくり、ネットワークづくりに関する支援を行います。

取り組みの方向性

- できるだけ長く健康で自立した生活を送るための個人の活動を支援するとともに、地域での健康づくりの活動を支援します。
- 複雑化、専門化する要支援者のニーズに対して、できるだけ質の高いサービスが受けられるよう、専門機関や事業者、地域組織が連携する仕組みをつくるとともに、地域にある施設等の機関が身近な相談機関となるよう、機能の充実と職員のスキルアップを図っていきます。

平成27年度の主な取り組み

●誰もが健康で生き生きと暮らせる地域づくり

- ・『元気づくりステーション』
新規立ち上げ支援及び研修や団体の交流を図ること等による活動の継続支援（現14か所）。
- ・ウォーキング支援
ウォーキングサポーターの育成、ウォーキング活動支援、ウォーキング効果測定会の実施。
よこはまウォーキングポイント（市事業）の推進。
*ウォーキングポイント申込者数 横浜市98,569人、港北区7,007人（3/31現在）
- ・ロコモティブシンドローム（※）予防啓発
啓発講演会、予防講座（区内4会場）、啓発リーフレット配布。
※「運動器（身体活動に関わる骨・筋肉・関節・神経などの総称）の障害」により「要介護になる」リスクの高い状態になること。

●地域とつながる交流の場づくり

- ・「サロン」や「交流の場」づくり と運営支援
住民が主体となって運営する子育てサロンや障がい児の交流会、異世代交流サロンなどの立ち上げや運営支援。
- ・『みんなの居場所』
区内4か所の居場所に対する運営資金助成。

●支援者のネットワークづくり

- ・港北区高齢者支援ネットワーク
港北区で在宅医療に携わる保健・医療・福祉関係者のネットワークづくりと従事者のスキルアップ。（年3回）
- ・子育て支援施設としての保育所機能の充実
公民保育所共催の育児講座（区内4会場程度）、赤ちゃんサロン（0歳児親子の交流と育児相談）、ベビーステーション（おむつの交換や休憩場所として立ち寄れる場）

目標 5：情報を収集し提供する仕組みづくりを進めます

支援を必要とする人に対して、より届きやすい情報提供のあり方を検討するとともに、地域活動団体が行う情報発信を支援します。

現状・課題

- 高齢者や障がい者、子育て中の方など、必要な人に的確に情報を届け、具体的なサービスにつなげていきます。
- 地域で行われている様々な福祉保健活動を紹介することにより、参加へのきっかけづくりや活動の活性化を図ります。

平成 27 年度の主な取り組み

●必要な人に必要な情報が届く仕組みづくり

- ・移動情報センター『おでかけ GO！港北』（障がい児・者の移動に関する相談窓口）の機能充実
移動支援に関する情報提供に加え、実際のサービス利用につながるようなコーディネート機能の向上。（近隣区との連携、移動支援事業所連絡会の開催 等）
- ・子育て応援メールマガジン『ココめ～る』
子育て情報を登録者へメールにて配信。3月末現在の登録者数 4,459 件。

●福祉保健活動に関する情報発信

- ・「ひっとプラン港北」地区計画の全戸配布
- ・福祉保健活動の紹介
「広報よこはま港北区版」「ふくしのまど（タウンニュース掲載）」「地域力発見通信」「ボランティアセンター通信」、ホームページなどへの掲載。

●地域からの情報発信に対する支援

- ・地域のホームページ立ち上げ支援（講師紹介）

目標 6：必要なサービス・相談支援が届く仕組みづくりを進めます
支援が必要な人を支える仕組みづくり等、誰もが安心して暮らせるまちづくりを支援します。

取り組みの方向性

- 地域での見守りの仕組みづくりや、支援者のスキル向上とネットワーク強化によって、要支援者を早期に発見し、支援していく体制をつくります。
- 身近な地域を単位として、個人の支援に関する課題検討の積み重ねによって明らかになった地域の課題を共有し、解決に向けた検討を行う場をつくっていきます。

平成 27 年度の主な取り組み

●**地域で見守る仕組みづくり**

- ・『災害時要援護者支援事業』
区と協定を結んでいる自治会町内会に、同意の得られた対象者名簿を提供。
自治会町内会に対する、名簿を活用した見守り等の取組支援。
- ・『ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業』
75 歳以上のひとり暮らし高齢者の状況把握。民生委員、包括支援センターに対象者名簿を提供し、訪問。平成 27 年度新規対象者約 1,400 名。
*平成 26 年度の対象者約 1,300 名のうち、訪問不要者をのぞいた約 800 名を訪問し、そのうち 40.4%が継続的な見守りを希望。
- ・地域ケア会議
支援や介護を必要とする高齢者の具体的な課題検討を通し、地域包括ケアシステム（※）の仕組みづくりをめざす会議。27 年度は個別レベル、包括圏域レベルに加えて区レベルの会議を 2 回実施予定。
※支援や介護を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で尊厳ある生活を可能な限り継続できる体制。
- ・要保護児童等対策地域協議会
地域と支援機関が要保護児童等に関する情報や支援方針を共有し、連携して対応していくことをめざす場。区全体会に加え、地域別の開催を予定。
- ・地域における見守りの仕組みづくり
地域で自主的に行っている見守り等の活動との連携、支援。
地域密着のサービスを展開する事業者との連携による「緩やかな見守り」。

平成 27 年度の主な取り組み

●高齢者・子育て世帯等の孤立防止、虐待の予防への取り組み支援

- 子育て世帯の孤立防止、育児不安の軽減
妊娠時から子育て期までの親の育児不安軽減。
（看護職による母子健康手帳交付時の相談面接、母子訪問員や地域の子育て経験者等による訪問の充実、赤ちゃん会など）
- 児童虐待防止対策
養育支援が必要な家庭の確実な状況把握および児童虐待に対応する職員のスキル向上。
児童虐待防止に関する啓発（講演会、チラシ等の配布、パネル展示等）。
- 高齢者虐待予防
一般区民や介護保険事業者等への啓発、介護者支援。

●高齢者、障がい者、子育て世帯等への理解促進

- 認知症への理解促進
『認知症サポーター養成講座』の開催および地域住民や地域ケアプラザ等が開催する同講座の支援。
- 障害や精神疾患に関する理解促進
区民向け啓発講演会、支援者向け研修の開催。

●生活困窮者への支援

- 生活困窮者自立支援制度の円滑な運営
生活保護に至る前の自立支援の強化。
- 港北区寄り添い型学習等支援事業『港北べんきょう会』
生活保護受給世帯等の中学生を対象とした学習等の支援を区内 2 か所を実施。
*参加中学生 44 名、学生ボランティア登録 36 名（平成 27 年 3 月末時点）

◆わたしたちのまちの取り組み

キーワード	取 り 組 み	
	目 標	具 体 策
つながり	理解	地域に暮らす要援護者との顔の見える関係づくりをし、障がいのある方の理解と地域参加を広げます。 ・小学校区を拠点にして、毎年行われている防災訓練を、周知徹底します。
	担い手	ボランティア活動に参加する方を増やします。 ・新たに地域活動に参加（地域デビュー）する方を増やすために、ホームページ、広報紙などを使い、工夫した募集をしていきます。
つながり	近所	向こう三軒両隣の近所づきあいを大切に、災害時要援護者への日頃の見守りを重点化し、人のつながりをつくります。 ・知らない方ともできる唯一のコミュニケーションである「あいさつ運動」を大切にします。 ・それぞれのまちのなかに、高齢者・子育て・障がい児者などの居場所をつくります。
	活動	活動を通して、ネットワークを強化していきます。 ・福祉実践活動発表会“光と活力”を継続し、拡充していきます。 ・ホームページ・広報紙を作り、活動を周知していきます。
つながり	情報	福祉保健サービスについての情報などが、多くの地域住民の方に届くようにします。 ・福祉講座では、まちのお医者さんを迎え、講演会や啓発活動を行います。
	早期発見	子育てに悩む方や介護の必要な高齢者など、福祉保健サービスの必要な方の早期発見を行い、関係機関につなげます。 ・地区にある下田地域ケアプラザ、日吉本町地域ケアプラザの2館との連携に努め、活動を行います。

光と活力に満ちあふれる日吉

～一つひとつの活動が光り、大きな活力に発展するまち～

① 薪での炊き出し訓練
② ここに広場
③ ひだまりサロン
④ 崖崩れ調査
⑤ 鯛ヶ崎公園プレイパーク

災害時要援護者支援マップ

＊ 横浜市建築局都市計画基本図データにより作成
＊ 横浜市地形図複製承認番号 平26建都計第9003号

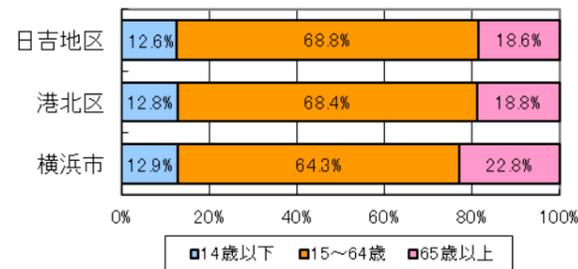
◆日吉地区の人口

世帯数と人口

	世帯数	人口	平均世帯人員
日吉地区	35,204	71,418	2.03
港北区	163,761	337,500	2.06
横浜市	1,727,943	3,722,428	2.15

*平成27年3月末現在

年齢3区分別人口構成



発行： 「光と活力に満ちあふれる日吉」推進委員会

委員長：片野芳昭（日吉地区社会福祉協議会会長・日吉町自治会会長）

◆日吉のまちは、こんなまち

港北区で一番北に位置していて、東西に長く、山坂も多いですが、緑豊かで活気のあるまちです。日吉駅前には放射状に延びる3つの商店街があり、慶應義塾大学もあるため、学生の街として賑わっています。転入者は区内で一番多く、子どもの遊び場や居場所が充実しています。

日吉地区の取り組みを皆さんにご紹介します。

日吉地区
社会福祉協議会
片野会長



詳しくは、こちら

※「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画の愛称です。

■日吉地区では、5つの地区民生委員児童委員協議会エリアごとに「町ケア連絡会」という推進組織をつくって福祉保健活動を展開し、「日吉地区地域ケア連絡会 全体会議」で、「町ケア連絡会」の取り組みを情報共有しています。また、『「光と活力に満ちあふれる日吉」推進委員会』で、地区の幅広い取り組みを情報共有することで、ネットワークづくりを目指しています。

「光と活力に満ちあふれる日吉」推進委員会

- 【構成メンバー】
- ◆ 連合町内会
 - ◆ 社会福祉協議会
 - ◆ 民生委員児童委員協議会
 - ◆ 青少年指導員協議会
 - ◆ スポーツ推進委員会
 - ◆ 老人クラブ
 - ◆ ボランティアグループ
 - ◆ 子ども会育成会
 - ◆ 障がい児 自主訓練会
 - ◆ 地域活動ホーム
 - ◆ プレイパーク ほか

日吉地区 地域ケア連絡会 全体会議



★ 町ケア連絡会 ～平成26年度の取り組み～

★ **日吉町** 多世代交流サロン『サロン日吉「なかよし」』の充実

サロンの様子 ▶ 

★ **宮前** 平成27年4月からホームページがスタート

ホームページの画面 ▶ 

★ **箕輪** 町内会のホームページの充実

ホームページのPR ▶ 

★ **日吉本町** 障がい児者サロン「障がい児者のよりどころ ふれんど」の充実

サロンの様子 ▶ 

★ **下田** 災害時要援護者支援マップの充実

災害時要援護者支援マップづくりの様子 ▶ 

町ケア連絡会 共通の取組

高齢者・障がい者等の 災害時要援護者支援の取組

～平成27年度の取り組み～

・サロン日吉「なかよし」は7月にオープン3年目を迎えます。今年度は子どもたちにも多く参加してもらえよう、サロン祭りを中心に「昔あそび」などを取り入れ、伝承していきます。また、大災害に備え、災害に対する住民の意識を高めていきます。
 <活動日：毎月第4(金) 13時～15時 場所：日吉町自治会館>
 ■事務局：加藤 君子 Tel. 045-561-3239

・日吉町宮前地区のホームページが4月1日よりスタートしました。広報誌もこれまで通り発行していきますが、ホームページでは活動情報をより早く発信し、多くの方に活用されるようにしていきます。
 <ホームページ> <http://miyamae-yokohama.jp/> QRコード 

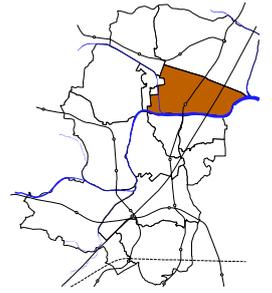
・だんだんと根付いてきたホームページを、今以上に地域の方々に親んでもらえるよう取り組んでいきます。例えば、町内会で活動している全ての団体のお知らせや報告にホームページを活用します。防災や防犯、町内美化活動に関する発信は今後も継続していきます。
 <ホームページ> <http://www.minowachou.com/> QRコード 

・「障がい児者のよりどころ ふれんど」は障害のある子どもたちが地域とつながることを目的とした居場所です。地域のボランティア及び民生児童委員と保護者の交流会を定期的に行い、災害時など、いざというときに生きる関係性を築いていきます。
 <活動日：毎月第3(土) 13:30～15:30 場所：コンフォール南日吉 集会所>

・下田地区では「災害時要援護者支援マップ」を作成し、災害時に情報提供ができるように準備をしています。マップは毎年更新し、それを基に実際に地区内を歩いて危険箇所を確認する等、マップの充実を図っています。

光と活力 福祉実践活動発表会 (平成28年2月予定)

元気でふれあうまち 網島



～イベントをつうじた街づくり～



少年すもう大会



わんぱくおばけ大会



網島 盆踊り大会



スポーツフェスティバル



第九演奏会



委員長：大谷宗弘

私たちのまち、網島では「元気でふれあうまち網島」を合言葉に住民参加型の事業を従来より展開しています。春にはさくら祭りや桃祭り、鶴見川沿いの菜の花祭りにもぎやかに開催されます。また、地区センターを会場としたお化け大会や敬老会、網島小学校で行うすもう大会なども地域の多くの方の協力により盛大に開催されております。色々な行事をつうじて、地域の皆さんがつながりあい、そして、網島地区に愛着をもっていただきたいと思っております。

※「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画の愛称です。

◆「元気でふれあうまち綱島」を目指して

「ひっとプラン港北」（地域福祉保健計画）綱島地区推進委員会は、平成18年度から災害時要援護者支援に取り組んできました。現在はその他に「綱島ひっとプランニュース」の発行、ホームページの立ち上げ、地域の方の居場所（サロン）づくり等に取り組んでいます。

綱島地区は鶴見川河川敷や綱島市民の森、綱島公園といった自然環境に恵まれており、また、綱島桃まつり、綱島桜まつり、綱島菜の花まつり、綱島地区センター文化祭、少年すもう大会、盆踊り大会など、お祭りやイベントが盛んな地域です。地区センターや自治会館・町内会館などでも様々な活動が行われています。このような特徴を活かし、イベントや地域活動をきっかけにした住民同士の交流や担い手の育成をすすめます。幅広い世代が地域について一緒に考え、ささえあい・たすけあいを実践するまちを目指して取り組みを行っています。

◆平成26年度の活動



【ネットワーク部会】

各自治会・町内会で取り組む災害時要援護者支援について、現在の状況や工夫していることなどを情報交換しました。

あわせて、いくつかの取り組みを「ひっとプランニュース」で地域の皆様に紹介しています。

【交流部会】

高齢者向けお茶のみサロン「ふれあいの家」を26年度より月1回計8回実施しました。参加者は計73名、内容は合唱、高齢者用エアロビクス、懇談です。

27年度の実施日は各自治会の「回覧板」と掲示板でお知らせします。時間に余裕のある方、お友達をつくりたい方、奮ってご参加下さい。



親友会館での体操の様子

【情報部会】

平成24年10月より年2回、ひっとプランニュースを発行しています。

また、綱島地区のホームページを通じて、連合自治会・ひっとプラン・地区社会福祉協議会等の情報発信を行っています。

地域の皆様、是非情報をお寄せください！

URL：

<http://tsunashima-rengo.com/>



◆わたしたちのまちの取り組み

キーワード		取 り 組 み	
		目 標	具 体 策
つながる	理解	子どもを含めた幅広い世代と一緒に活動することで、地域のことや地域に暮らすさまざまな人(高齢者や障がい児・者含む)のことを理解し、ささえあいを実践するまちをつくりま	自治会町内会、地区社会福祉協議会、地区民生委員・児童委員協議会や、幼稚園、保育園、小中学校、ボランティア団体、商店街など、地域の団体が行う行事やイベントにおいて、より多くの団体が連携し、交流を行います。
	担い手	地域行事・イベントへの幅広い世代の方々の参加をきっかけにして、担い手の発掘・育成をすすめます。	活動に対する楽しさを広報するなど、地域の活動団体が、連携して担い手の発掘、育成を行います。行事やイベントの実行委員会などを中心に、担い手への相談・支援を行います。
つながる	知る	日ごろの見守りや災害時に援護が必要な人が地域に暮らしていることを、地域の住民が知ることで、ささえあいのまちをつくりま	身近な見守り活動をひろげていくため、自治会町内会を中心にして、地区社協、地区民児協の連携のもと、一体的に災害時要援護者支援を行う体制づくりを進めます。
	活動	子どもや高齢者、障がい児・者などに関わるさまざまな活動のつながりをつくり、幅広い世代同士の、日ごろから顔の見える関係づくりをすすめます。	「綱島ひっとプランニュース」やホームページを通じて地域で活動している人が互いの活動を知り、連携するきっかけをつくりま 引き続きサロン（地域住民の居場所）「ふれあいの家」を定期的を開催するとともに、綱島西での開催を目指しま
むくむ	情報	幅広い世代の方々に、地域活動に関心を持っていただけるような情報発信を行います。	ホームページ、「綱島ひっとプランニュース」などによって、情報を地域の方々にとどけます。活動の様子や、参加した人の声もとどけます。
	早期発見	地域で福祉保健サービスが必要な人を早く見つけ、的確に対応できるまちをつくりま	災害時要援護者支援や地域活動において、子育てに悩む方や介護の必要な方を見つけたときには、自治会と民生委員をはじめとして、地域で協力して見守ります。また、各自治会での取り組みについての情報交換を通じてよりよい仕組み作りを目指しま



各種行儀の会場です。
是非お出かけください

- …網島桃まつり会場
- …網島桜まつり会場
- …網島菜の花まつり会場
- …ふれあいの家会場

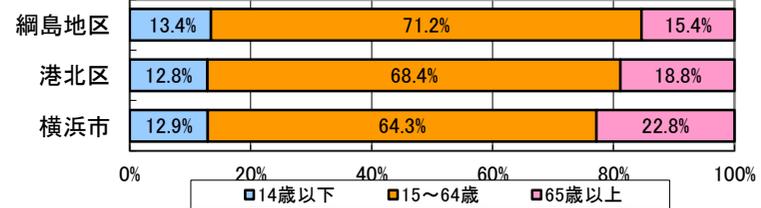
集会場でお茶飲み会や各種イベントを開催している自治会もあります。掲示板などをご確認ください。



網島地区の人口

	世帯数	人口	平均世帯人員
網島地区	20,270	41,264	2.04
港北区	163,761	337,500	2.06

【年齢3区分別人口構成】



※横浜市建築局都市計画基本図データにより作成
※横浜市地形図複製承認番号 平26建都計第9003号

ハートフル大曽根の取り組み

「誰もが安心して暮らせるまち港北」を目指して、行政と住民が協働して地域の課題解決に取り組んでいます。大曽根地区ではその取り組みを「ハートフル大曽根」と名付け、情報発信や、安全なまちづくりのための活動などを行っています。

ひろがる

「啓発講座」

認知症や障がいへの理解をひろげる活動を行っています。

つながる

「イベントカレンダー」

地域で活動する団体などが連携するきっかけをつくります。

とどく

「広報紙『ザ・ニュース大曽根』」

まちの方々に情報を届け、まちについて知ってもらいます。

「『あんしんカード』※1の配布」

緊急時に支援の手が確実に届くよう、まちの方々の意識を高めます。



あんしんカード		港北区大曽根自治連合会 町会名	
(ふりがな)			
氏名			
住所	大正・昭和・平成 年生		
電話	横浜市港北区大曽根		
主治医		病院	先生

【※1】 震災等の災害時や、自宅・外出先での急病や大怪我などで自分の状況を伝えられなくなった場合に必要情報を素早く救急隊員等に伝えるためのカードとして作成し、町会ごとに配布しています。

平成27年度に向けて

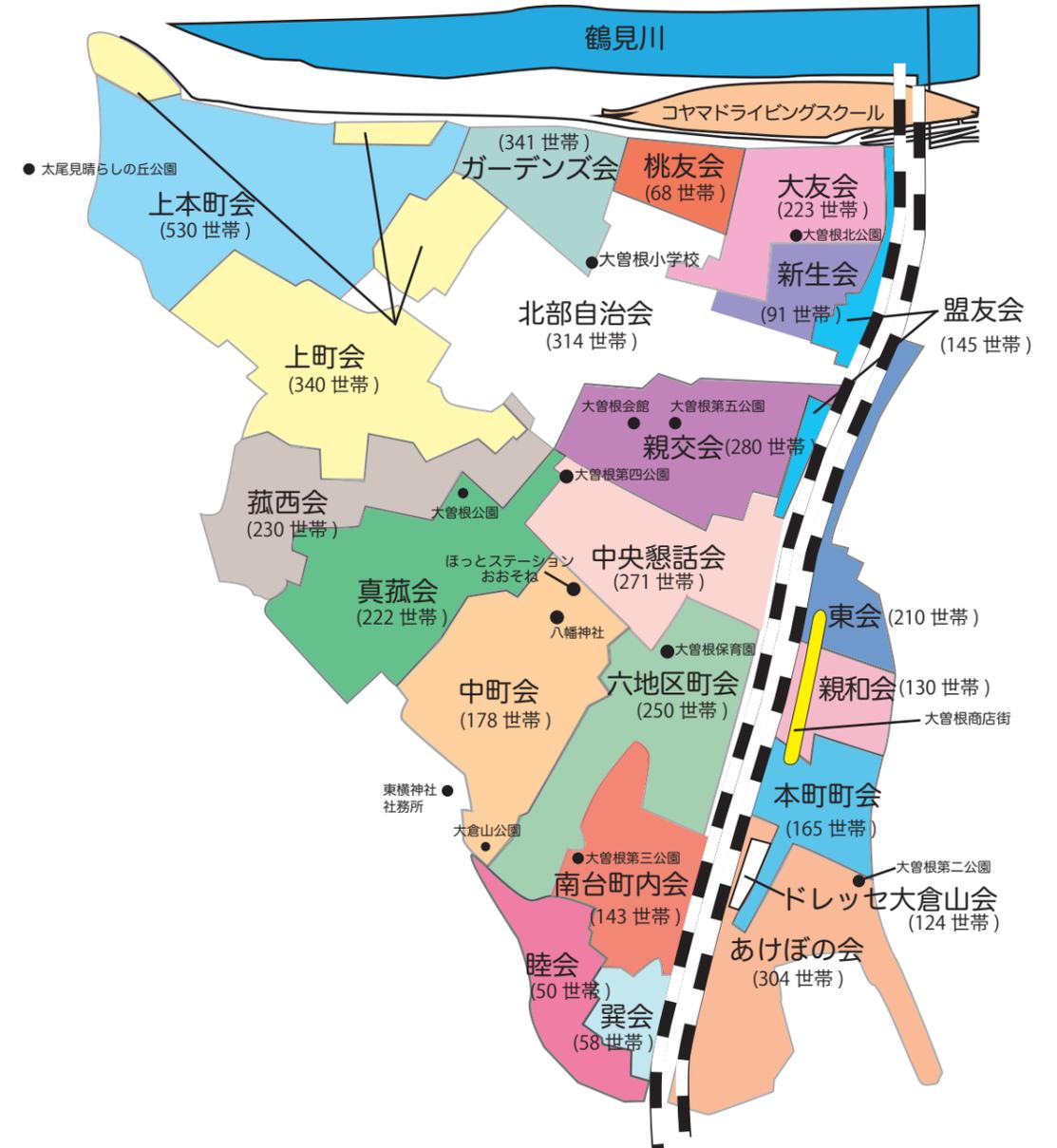
「ハートフル大曽根」は、大曽根にお住まいの誰もが地域に愛着を持って、安心、快適に暮らすことをめざし、様々な事業に取り組んできました。今年度もその活動を継続すると同時に、より多くの方々にこの活動に参加してもらいたいと考えています。

27年度の主な取り組み

- ①「あんしんカード」の配布と普及啓発
- ②「ザ・ニュース大曽根」の充実
- ③地域住民向け講演会の開催
- ④住民懇談会の開催



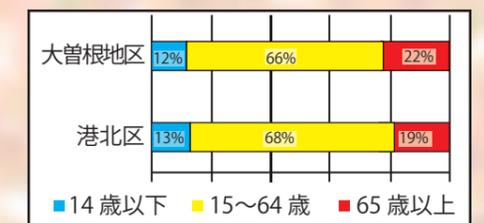
ハートフル大曽根



●大曽根地区の年齢3区分別人口

町名	14歳以下	15~64歳	65歳以上	合計
大曽根1丁目	180	1,395	559	2,134
大曽根2丁目	308	1,851	726	2,885
大曽根3丁目	475	2,231	520	3,226
大曽根台	294	1,705	640	2,639
合計	1,257	7,182	2,445	10,884

●年齢3区分人口構成



平成 27 年 3 月末現在

平成27年度

大曽根イベントカレンダー

開催日	内容	場所	問合せ先
5月 23日	大曽根小学校運動会	大曽根小学校	
6月 4日	ネットワークの会情報交換会	大曽根会館	社
未定	団体長会議	大曽根会館	連
未定	盆踊り	大曽根小学校	連
7月 未定	大曽根ペットボトルロケット大会	大曽根小学校	青 子
18日	ハードル映画上映会	港北公会堂	
18~24日	夏休みラジオ体操	町内の公園など	子
8月 15日	お化け大会	綱島公園	連
23日	子ども大会 お楽しみウォークラリー	大曽根町内	子
9月 6日	区ペットボトルロケット大会	樽町公園多目的広場	青 子
12,13日	八幡宮祭礼		
27日	大曽根ペタンク大会	大曽根小学校	連 ス
10月 未定	健民祭	大曽根小学校	連
17日	ふるさと港北ふれあいまつり	新横浜駅前公園野球場	
11月 1日	区ペタンク大会	樽町公園多目的広場	ス
未定	自主防災訓練	大曽根小学校	連
未定	ときめきコンサート	大曽根小学校	ほっ
3日	福祉まつり	大曽根会館とその周辺	社
未定	自然体験教室		青
未定	ネットワークの会情報交換会	大曽根会館	社
12月 9日	出初式	日産スタジアム駐車場	
10日	港北駅伝大会	日産フィールド小机	ス
未定	子ども大会 書道展	未定	子
2月 未定	大倉山観梅会		
28日	区グランドゴルフ大会	樽町公園多目的広場	ス

棋楽会

参加者
募集中!

通年開催

イベント名 *場所	開催日	備考	連絡先
大曽根やすらぎ昼食会 *大曽根会館1階 ※登録制	原則 毎月20日(8月除) 12~14時	参加費:300円	松村 富美子(544-2078)
配食よつ葉会 ※登録制	金曜日の夕食(月4回,8月除)	料金:1食400円	外山 登志子(542-0390)
ほっとステーションおおそね(居場所) *大曽根台10-19	平日:10~12時,13~17時 土曜:10~12時,13~17時	利用料:100円(茶菓子つき) その他:自由参加	岡野内 恭子 (090-2722-0676)
木曜サロン(おれんじの会) *大曽根会館1階	原則 第4木曜日10~12時 対象:一般(日中独居の方) その他:自由参加	参加費:100円	古田 富美恵(547-0952)
大曽根らくらく体操教室 ※登録制 *大曽根会館1階	原則 第2,4水曜日13:30~15:00 *直接会場へ 当日参加可	参加費:月500円	椎名 真生(543-2332)
花しょうぶ(高齢者ミニディサービス)	原則 第4金曜日13:30~15:00	参加費:100円	樽町ケアプラザ(532-2501)
おおそねちびサロン *大曽根会館2階	第2木曜日(8月除) 10~12時 4,11月は第2火曜日も開催 (0歳児とその保護者対象)	参加費:無料 その他:0歳児~未就園児と その保護者が親子で遊び 楽しく過ごすサロンです	飯塚 隆子(541-7142) 森谷 かおり(544-2682)
大曽根商店街	毎月第3日曜日(8月末定):朝市 第3木曜日:とくとくクーポン券の日 7月:現金つかみ取り抽選会 9月:さんまの炭火焼 10月:秋の味覚が当たる抽選会 12月:正月用品が当たる抽選会		大曽根商店街代表 多田 十郎(541-7179) 大曽根商業協同組合代表 小林 尚久(541-1373)
ペタンク/グランドゴルフ *大曽根小学校校庭	原則第2,4日曜日 13:30~15:30	参加費:無料	大島 康孝 (090-4938-2430)
さわやかスポーツ(ソフトバレーボール) *大曽根小学校体育館	原則土曜日18~21時	参加費:無料	大島 康孝 (090-4938-2430)
赤ちゃん会 *大曽根会館2階	5,6,7,9,10,12,2,3月の第2火曜日 10:00~11:00	参加費:無料 対象:0歳児と保護者の方	港北福祉保健センター (540-2388)
棋楽会 ①大曽根会館(木曜日).....木曜日13~17時(会員のみ) ②樽町ケアプラザ(月曜日,第2水曜日).....月曜日(第4除)9~16時(会員のみ) 第2水曜日13~17時(自由参加)		入会金:500円	栗原 偉佐武(541-4753)
大曽根歩こう会 ※登録制 (計画書配布)	年8回 *3~6月,9~12月 第1火曜日		兵永 朗(531-2732)
大曽根折り紙教室 *大曽根会館1階	原則 第3月曜日13:30~(8月除)	参加費:各期1,000円 (1期4~7月,2期9~12月,3期1~3月)	神崎 義枝(531-4492)
大曽根男の料理教室 *綱島地区センター	第2火曜日10~14時(8月除)	参加費:上期・下期各6,000円	宮澤 徹(544-7126)
花を楽しむ会	随時活動		増澤 幸雄(544-4482)

☎: 問合せ先

- 連 大曽根自治連合会(和泉 090-3335-1360)
- 社 地区社会福祉協議会(外山 542-0390)
- 青 青少年指導委員会(蠣崎 546-0018)
- ス スポーツ推進委員会(大島 090-4938-2430)
- 子 子ども会(木曾 531-0703)
- ほっ ほっとステーション(岡野内 090-2722-0676)



おれんじの会



やすらぎ昼食会



福祉まつり



健民祭



例大祭



ほっとステーション
おおそね

思いあいのまち 樽町



樽町地区キャラクター「たる坊」

思いあい

樽町イベントカレンダー 合併号

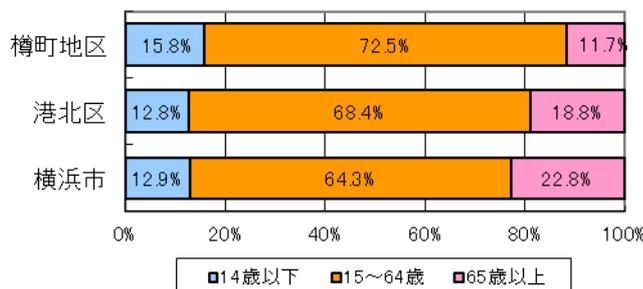


◆樽町地区の人口

	人口	世帯数	平均世帯人数
平成27年3月末	16,752	7,746	2.16
平成26年3月末	16,166	7,501	2.16
増減	+586	+245	—

* 横浜市建築局都市計画基本図データにより作成
* 横浜市地形図複製承認番号 平26建都計第9003号

年齢3区分別人口構成



※ 「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画の愛称です。

イベントの内容は変更になる場合がございますので、ご参加の前に必ず各自でご確認ください。
※参加費の記載がないものは【無料】です。
イベント情報の確認は樽町青体指のホームページ(facebook)でも確認ができます。

7・8月

ジャンル	イベント名 日時・場所	内容	参加対象	問合せ先
	熊野神社星祭り 〇7月4日(土) 5日(日) 師岡熊野神社	小学校や中学校の児童・生徒の書いた 願いごとの短冊がかけられます。	どなたでも	師岡熊野神社
	樽町ペットボトルロケット製作講習会 〇7月12日(日) 9:00~12:00 樽町中学校	ペットボトルでロケットを飛ばします。出来 上がったロケットは区大会で飛ばしてみ ましょう。	樽町在住小学生	各町内会・自治会の青少 年指導員、スポーツ推進 委員
	チームハードル映画上映会 〇7月18日(土) 9:30~ 港北公会堂	地域ボランティアによる無料映画上映会 です。	どなたでも	チームハードル hurdle@hmwr-lsi.co.jp
	大曾根盆踊り大会 〇7月後半(未定) 大曾根小学校	誰でも参加できる盆踊り大会です。出店 もあります。	どなたでも	大曾根自治連合会
	師岡縁日・盆踊り大会 〇7月25日(土) 夕方~ ※雨天26日(日) 師岡小学校	誰でも参加できる盆踊り大会です。出店 もあります。	どなたでも	師岡連合町内会
	樽町子ども会盆踊り大会 〇7月25日(土) 夕方~ ※雨天26日(日) 樽町白梅幼稚園	誰でも参加できる盆踊り大会です。綿菓 子、焼きそば、当てくじなども出店します。	どなたでも	樽町子ども会 kodomo@hmwr-lsi.co.jp
	みんなのたまり場 夏祭り 〇7月26日(日) 13:30~15:00 樽町地域ケアプラザ	世代交流サロンの夏祭り。楽しい縁日で 遊べます。	どなたでも	樽町地域ケアプラザ ☎532-2501
	交流のタベとお化け大会 〇8月15日(土) 17:00頃~ 綱島地区センター・綱島公園	お化け大会を中心とした行事です。 参加費:1人300円(食事・保険代)	綱島・大曾根・樽 町地区の小学生	綱島地区センター ☎545-4578
	ラジオ体操 〇8月18日(火)~21日(金) 6:30~ 樽町白梅幼稚園	朝のラジオ体操です。最終日は参加賞が もらえます。	樽町在住小学生	樽町子ども会 kodomo@hmwr-lsi.co.jp

9~11月(主なもの)

ジャンル	イベント名 日時・場所	内容	参加対象	問合せ先
	港北区ペットボトルロケット大会 〇9月6日(日)8:30~12:00 鶴見川樽町公園	空に向けて飛距離を競います。7月の ペットボトルロケット製作講習会で作った ロケットを飛ばします。	小学生	各町内会・自治会の青少 年指導員、スポーツ推進 委員
	杉山神社例大祭 〇9月6日(日)祭礼: 9:00~ 杉山神社	杉山神社のお祭りです。 今年は、出店や催しはありません。 (隔年で実施)	一般の方は昇殿 できません。	樽町杉山神社
	樽町体育祭(ふれあいの集い) 〇10月4日(日)9:30~15:30 樽町中学校グラウンド	秋空のもと、運動会を楽しみましょう。 子どもから年配の方まで種目に参加でき ます。	各町内会・自治会 単位で募集	各町内会・自治会
	樽地区合同防災訓練 〇10月24日(土)9:00~12:00(予定) 樽町中学校	震災に備え、樽地区の防災拠点、樽町中 学校の体育館を中心に「震度5強」で拠 点開設のシミュレーションをします。	子供から高齢者・ 障害者まで、全て の方。	各町内会・自治会
	樽地区グラウンドゴルフ大会 〇10月25日(日)8:30~14:30 鶴見川樽町公園	グラウンドゴルフは、6人で1チームの対 抗戦です。ゲートボールとゴルフが一 緒になったとても楽しい競技です。	各町内会・自治会 単位で募集	各町内会・自治会の青少 年指導員・スポーツ推進 委員
	樽町移動動物園 〇11月8日(日)10:00~15:00 樽町しょうぶ公園	昨年に続き今年も開園します。身近な公 園で、動物たちと触れ合い、楽しく遊ば しょう。	どなたでも	各町内会・自治会

ペットボトルロケットを作って飛ばそう

7/12(日)にペットボトルと牛乳パックでロケットを作ります。
まずは、樽町中学校の校庭で試みに飛ばしてみましょう。そし
て9/6(日)の港北区大会に参加し、鶴見川河川敷で飛距離を
競います。だいたい30~50mも飛びますよ。誰でも簡単にで
きますので、今年の夏は自分だけのオリジナルのロケットを
作って楽しんでみませんか。デザインコンテスト部門もあります。



樽町にある 保育園・幼稚園

☆なあな保育園

樽町リリアタウンの2階にあり、園児数65名の家庭的な保育園です。「愛すること、愛されることを大切に
する子どもを育てる」という保育理念のもと、子ども
たち一人一人の個性を尊重し、愛情をもって肯定的な
関わりをしています。

幼児クラスは縦割り保育を実施しており、異年齢児の
関わりを大事にしています。「リズム体操」「国語教
育」「食育」に力を入れており、子ども達も楽しく取
り組んでいます。毎年7月に行われる夏祭りでは地域
の子ども達と一緒にヨーヨー釣りやゲームを楽しんで
います。また、離乳食試食会や園庭開放を定
期的に行っており、地域の方々との交流を深
めています。



☆小学館アカデミーつなしま保育園

今年3年目に入る保育園で
す。1年を通じて季節の行
事を行い、夏祭り・運動会
・豆まき・ひなまつりに
地域のお子様と保護者の方
を招いて行事に参加して頂
いています（要予約）。

保育園の園庭や園舎にて、同年代のお子様と
交流を持って頂き、保育園がどんな所か、又
育児で悩んだりどのように子育てをしたらい
いか日頃保護者の方が悩んでいらっしゃる事
の相談等も子育て支援の一環として行い、交
流を通して知り、地域の方との交流をはかっ
ております。



☆白梅幼稚園

当園には大きな桜の木があります。春は花、夏は緑、
秋は紅葉で園庭を彩り、子ども達を見守っています。
地域の皆様、保護者の皆様に支えられ、当園は今年
創立48年を迎えました。

子ども達の成長の源は「実体験」にあると思います。
友達や先生、保護者の方との関わり、暑さ寒さを感
じること、泥や虫に
触れたときの感触、
その時の気持ち・・・。
沢山のことが経験でき
るよう、子ども達の育
ちを支えて参ります。



☆大倉山元気の泉保育園



「社会福祉法人 元気の泉」
が運営する愛媛県宇和島市の
「元気の泉保育園」に続く、
2つ目の保育園になります。
保育目標は、適切な栄養や運
動に裏付けられた「たくまし

いからだ」、困難な状況でもくじけない「がんば
りのあるこども」、自分の変化において「考えら
れる子ども」です。のびのびと自分を出せる園で
の生活や、身近な自然、地域の方たちとの触れ合
いを通して、基本的な生活習慣の自立や心身の自立
を養うことで、自分の行為に責任の持てる生活力
のある、豊かで魅力的な人間となるための基礎を
つくります。

園庭開放日：第2、第4木曜日（対象：就学前の
お子さんと保護者の方。お電話でご予約下さい）

☆ひなた保育園

平成24年7月開園。広いお庭のあ
る一軒家の保育園です。家庭的な環
境づくりに配慮し、お家で過ごして
いるような安らぎと温かい雰囲気づ
くり心配りをしています。その中
で一人ひとりの個性を大切に保育しています。『みんなち
がってみんないい』一人ひとりの持っている輝きを大切に、
いつも見ているよ・・・を伝えたい。

※月極・一時預かり・プレ保育 随時募集しています。お気軽
にお問い合わせ下さい。



親と子のつどいの広場 「ひだまり」

しょうぶ公園の近くにある未就学の子どもと保護者が遊びを通して友達
づくり、仲間づくりができる広場です。言い換えると、子どもたちが共
に育つ、共育ちできる場所です。毎週、月・火・木・金の9時30分～
15時までご利用できます。

先輩パパ・ママや地域で子育てを応援してくれるボランティアの方々も
一緒に過ごします。ママたちの子育ての心配事なども時には話し合っ
ています。なお、この広場は横浜市から補助を頂いています。



樽町歩こう会



移動動物園



◆「思いあいのまち樽町」が目指す姿

「思いあいのまち樽町」（樽町地区ひっとプラン推進委員会）は、住民同士の顔が見える関係をつくるための取り組みを行ってきました。また、樽町連合町内会や各自治会町内会、樽地区社会福祉協議会は、子どもから高齢者まで楽しく快適に暮らすまちづくりに取り組んでおり、多くの活動やイベントが行われています。

樽町は、新しい、若い世代の方々の転入が多い地区です。それらの方や、また、以前から住んでいる方にも、地域で行われている様々な活動に関心をもっていただけるよう、情報をより多くの方に届け、参加と協力を広く呼び掛けていきます。住民同士が、日ごろから気軽に顔が見える関係をつくるきっかけとなるような場と機会をつくり、“思いあい”の輪づくりをすすめます。そしてその“思いあい”の輪を、子どもや高齢者、障がい児・者の見守りへと広がっていきます。こうした取り組みを通して、住む人に自分の「ふるさと」と愛着を持たれる樽町に育てていきます。

◆これからの取り組み

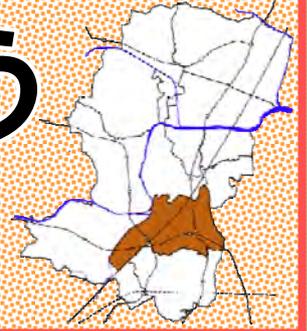
キーワード		取 り 組 み	
		目 標	具 体 策
ひらがる	理解	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動への理解と関心を広げます。 活動団体同士の相互理解をはかります。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で行われるイベントの内容を工夫し、協働する団体を増やしていきます。 地域住民が、障がい者への理解を深める機会をつくります。
	担い手	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動の担い手発掘・育成を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 「樽町イベントカレンダー」を、樽町中学校と連携して作成します。 様々な活動を通じて担い手の育成をはかります。
つながる	知る	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉やまちづくりに携わる人同士が互いに知り合い、連携していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の活動がわかるイベントカレンダーやマップを発行します。 樽町地区で行われている様々な活動がどのように連携していくかを、色々な機会に話し合っていきます。
	居場所	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い世代が気軽に集える居場所をつくっていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> マンションの集会所などを利用したサロンの開催を検討します。
	活動	<ul style="list-style-type: none"> 子どもと地域の大人、特に高齢者との顔が見える関係づくりをすすめます。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園での体操や清掃、植栽など、高齢者と子どもと一緒に活動する機会と場をつくります。 連合町内会の行事などに、幅広い年齢層の参加をすすめます。
よびこむ	情報	<ul style="list-style-type: none"> 地域の情報が届きにくい方々への提供方法を工夫します。 	<ul style="list-style-type: none"> チラシ、ポスターなどによる情報提供をすすめ、どなたにも見やすく、関心を持ってもらえるような工夫をします。 ホームページの充実をはかります。
	早期発見	<ul style="list-style-type: none"> 顔が見える関係づくりから、見守りの必要な人を早期に発見し、災害時の要援護者対策にもつなげていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 困ったことがあったときや、困っている人を見つけたときの相談先を「樽町イベントカレンダー」などに掲載します。

◆ 発行 「ひっとプラン港北」樽町地区計画推進委員会



平成 **27** 年度「**ひ**つと**と**プラン港北」**菊名**地区計画

みんなであう まちづくり



ひろがる } 港北区地域福祉保健計画
つながる } 「ひつとプラン港北」
とどく }

知っておきたい
わがまちの
取り組みはこちら

菊名では3地区ごとに
取り組んでいます



大倉山ハイム自治会
自主防災組織 防災訓練
(防災マニュアルと緑と黄色のバナー運用訓練)



中途障がい者団体いずみ会

大豆戸

菊名北町

篠原北



菊名北町町内会・大倉山喜久和会
気軽に相談できる「高齢者110番」



錦が丘町内会防災訓練
(いっとき避難場所への参集と
白布安否確認訓練)



「ひつとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画・活動計画の愛称です

◆わたしたちのまちの特色

- 菊名地区は交通の利便性が比較的良好、公的施設、医療機関、商業施設も多く区内でも早くから開発された地域です。人口は約 42,000 人で、高齢人口が年少人口よりやや多くなっています。高齢化が進んでいる一方で新築マンションが建ち、転入者の多い地域でもあります。
- 新横浜、大豆戸町などは比較的良好平坦な地形ですが、篠原北、錦が丘や菊名の一部などは山坂が多い地形となっています。このように、特徴の異なる地域がまとまって1つの地区を形成しており、抱えている課題が地域ごとに異なる面も見られます。

◆これまでの頑張り

- 菊名地区は第一期地域福祉保健計画（平成18年—22年度）でさまざまな取組みを立ち上げ、成果をあげてきました。
- **支えあい連絡協議会**では、菊名駅バリアフリー化の実現、高齢者や小学生の見守り活動、障がい者の会やその支援団体などによるバザー「らくらく市」への参加、「生活安全安心メモ」の作成、また高齢者支援のためのアンケート調査、交通弱者のための階段・坂道など歩行困難道路の調査などを行ってきました。
- **菊名地区社会福祉協議会**では、民児協による一人暮らしの高齢者を対象とした昼食会や子育てサロン等の活動、地域ケアプラザを中心とした子育てフリースペース、高齢者の介護予防サロン、障がい者等との交流事業やボランティア講座など様々に取り組んできました。
- **地域**では、相乗りタクシー、お出かけバス、打ち水大作戦、七夕、ハロウィン等、地域や参加対象も多様な自主的な活動が活発に行われてきました。

らくらく市



公園遊び
「びよんびよん」

◆これから目指していく姿

- 地域の様々な課題を地域で考え、地域で取り組むという地域福祉保健計画「**ひとつプラン港北**」。菊名地区は地域によって住環境が異なることから、それぞれの地域の特性ごとに**菊名北町**、**大豆戸**、**篠原北**の三地区別に計画を立案し推進してきました。
- **菊名北町**は高齢者を地域で見守る高齢者110番のステッカーを地域内の賛同者宅に設置する活動を進めてきました。また民生委員による定期訪問も継続します。
- **大豆戸**地区は障がいのある子どもとその家族について理解を深める取組みを進めました。今後は障がい児の通学支援や放課後活動支援等に参加して、家族との交流を目指します。また「地域活動ホーム」の運営委員会に出席して、情報の交換に努めます。
- **篠原北**地区の交流サロンは高齢者や一般の利用者の参加も増え交流の輪が広がっています。錦が丘町内会では防災訓練、要援護者の安否確認の成果をより高めます。

◆わたしたちのまちの取組み [3地区別]

		取組み【ひろがる つながる とどく】	
		目 標	具 体 策
ひろがる	菊名北町	みんなで支えあう町づくりを目指し地域の高齢者が安心感と連帯感を共有できる地域づくりをすすめます	地域内企業の賛同により高齢者110番ステッカー設置及び配布が行えました。
	大豆戸	みんなで支えあう町づくりを目指し障がいのある子どもとその家族について、地域での見守りをすすめるため、障がい者への理解を深める取組みを行います	障がい児の通学や放課後活動の支援に参加し、家族同士ホッとする時間と場所を設けて見守りの一助とします。また中途障がい者団体いずみ会の活動を通して地域の小学生との交流を続け、障がい者への理解を深めます。
	篠原北	みんなで支えあう町づくりを目指し、安心・安全な町を実現するための環境づくりをすすめます	高齢者が安心して出かけられるよう設置した7か所のベンチの補修及び作り替えを進めます。
つながる	菊名北町	町内会、民生委員児童委員協議会、大豆戸地域ケアプラザ、区社会福祉協議会等と、高齢者への取組みに関する情報の共有化を図ります	防犯パトロールや家庭防災員、老人クラブ等隣近所への声かけ運動の実施、民生委員の定期訪問を引き続き行います。
	大豆戸	障がいのある子どもと日常密接に関わっている、地域の福祉関係施設などと連携して、障がいのある子どもや家族との交流が出来るような活動への取組みをすすめます	障がい児者、家族の地域行事参加を応援します。また、防災訓練などで「緑と黄色のバンダナ」を周知し、地域での見守りが障がい児者、家族に届くことを目指します。
	篠原北	一人暮らしの高齢者や災害時要援護者の見守りが出来る地域を目指します	地域及び錦が丘町内会防災訓練では地区毎のいつとき避難場所へ集合し、要援護者、住民の安否確認を行い、消火訓練、要援護者の炊き出し訓練を行いました。
とどく	菊名北町	一人暮らしの高齢者や災害時要援護者の見守り活動及び行政と協力し高齢者の安否確認への取組みを行います	地域で高齢者が困った時に気軽に相談できる家・企業をステッカーなどで表示し、高齢者がより安心感を持てる地域づくりを行いました。
	大豆戸	区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等と情報を共有し、障がいのある子どもと家族へ地域の取組みなどの情報を届け、地域との交流の機会をつくります	地域での障がい児者や家族同士の交流を通じて、当事者が抱えているさまざまな問題を共有する機会を増やします。
	篠原北	一人暮らし高齢者の孤立化と引きこもり防止対策として、サロンを活動拠点としたたまり場の交流と助けあいの活動を集めて、見守りネットワークに役立てます	表谷交流サロンは、活動内容に応じて、高齢者に限らず参加者同士が輪を広げ楽しい交流の場となるよう取組みを行いました。

みんなを支えあうまちづくり

菊名地区

11 自治会・町内会
加入世帯数
14,655 世帯
(H27.3 月末現在)

菊名北町

- ◆菊名北町町内会(菊名3丁目の一部、4・5・6丁目、7丁目の一部)
- ◆大倉山喜久和会(菊名7丁目の一部、大豆戸町1040~1042)

高齢者110番

高齢者が安心感と連帯感を共有できる地域

- ◆大豆戸町内会(大豆戸町※一部を除く)
- ◆大倉山ハイム町内会(大倉山ハイム)
- ◆新横浜町内会・新横浜自治会(新横浜1丁目※アデニウム新横浜以外、2・3丁目)
- ◆アデニウム新横浜自治会

障がい者を理解しよう

障がい児とその家族を見守り、理解、交流を深める

大豆戸

篠原北

- ◆錦が丘町内会(錦が丘、富士塚2丁目の一部)
- ◆表谷町内会(篠原北1丁目の一部、2丁目、篠原町の一部)
- ◆泉ヶ丘町内会(篠原北1丁目の一部)
- ◆ふじ町内会(富士塚2丁目の一部)

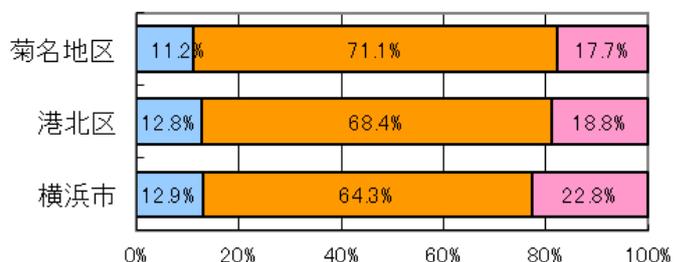
高齢者が安全、安心な地域を実現するための環境づくり

世帯数と人口

	世帯数	人口	平均世帯人員
菊名地区	22,567	42,882	1.90
港北区	163,761	337,500	2.06
横浜市	1,727,943	3,722,428	2.15

*平成27年3月末現在

年齢3区分別人口構成



■14歳以下 ■15~64歳 ■65歳以上

わが町師岡

— 安心・安全・住みよい町づくり —



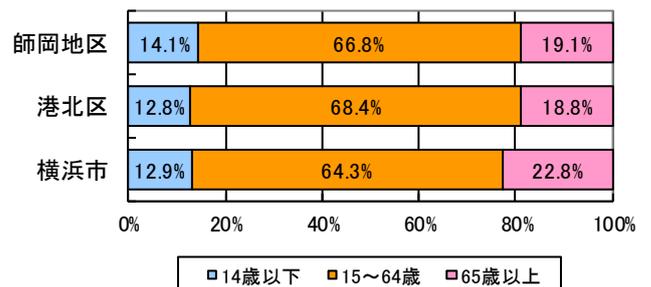
* 横浜市建築局都市計画基本図データにより作成

* 横浜市地形図複製承認番号 平 26 建都計第 9003 号

1 師岡地区の世帯数と人口

	世帯数	人口	平均世帯人員
平成 27 年 3 月末	4,681	10,368	2.21
平成 26 年 3 月末	4,621	10,345	2.24
平成 25 年 3 月末	4,526	10,119	2.24

年齢3区分別人口構成



※「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画の愛称です。

2 わたしたちのまちの特色

- ・師岡町は港北区の東に位置し、環状2号線をはさんだ4つの地区の町内会（打越、南、仲、表谷）が、平成4年に菊名から分離して連合町内会を組織しています。連合町内会と地区社会福祉協議会が一体となって「師岡地区ネットワーク」を形成しています。
- ・港北区役所や消防署、港北公会堂にも隣接しており利用に便利な所です。また近年では大型商業施設トレッサ横浜のオープンによって活気を増しています。
- ・和歌山県の熊野三山の祭神と一体の「師岡熊野神社」も当地にあり、年間を通して多くの参詣者で賑わっています。
- ・年少人口率14.1%、高齢化率19.1%と、人口構成は比較的バランスがとれています。子どもの数は横ばい、高齢者は確実に増加しています。
- ・最近では、丘陵部でのマンション開発が進み、新しい住民が増えています。

3 これまでの頑張り

- ・「ひっとプラン」の活動では、わが町師岡の「安全・安心・住みよい町づくり」をめざし、様々な取り組みを行ってきました。
- ・平成25年4月よりホームページを立ち上げ、様々な行事や各部会の活動をタイムリーに発信しています。
- ・恒例行事として、盆踊りと健民祭を1年ごとに開催しています。毎年大勢の人が参加し賑やかです。今年は盆踊りを予定しています。
- ・平成26年度の防災訓練では、地域防災拠点運営委員会の庶務班、情報班、救出救護班、食料物資班のそれぞれの指揮下に、発災を想定した拠点開設訓練を行いました。今年度は、いっとき避難場所での訓練も検討していきたいと考えています。

4 これから目指していく姿

地域福祉保健活動の推進である「ひっとプラン港北」も5年目に入り、取り組み内容が少しずつ実行に移され定着してきています。今後も「ひろがる・つながる・とどく」の活動をさらに進めていきます。

師岡町には若く新しい住民パワーが育ってきており、新・旧住民の地域のコミュニティーがますます重要です。また、師岡町の出生率は横浜市でも高率であることから、これまでの高齢者福祉とともに子育て世帯の支援にも力をいれていきたいと思えます。

盆踊りと健民祭



祭礼



福祉ふれあいまつり

地域防災拠点訓練



5 これからの取り組み

キーワード	取 り 組 み		
	目 標	具 体 策	
ひろがる	理解	<ul style="list-style-type: none"> ● 連合町内会・地区社会福祉協議会の活動内容を地域住民に周知し、参加を促します。 ● 高齢化社会への理解を広げます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 連町、地区社協の活動を知らせるため、引き続きイベントカレンダーを発行します。 ● 認知症に関する講座や介護予防教室などをさらに推進します。
	担い手	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域活動に参加する住民を増やします。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 縁日、盆踊り、健民祭、防災訓練等の場をとらえ、担い手の発掘を継続します。
	環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全・安心のまちづくりを進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 掲示板側面に設置した消火器の維持管理に努めます。 ● 町内の企業と提携し、防犯パトロールのさらなる充実をはかります。 ● 生活道路、通学路などでの歩行者の安全対策として、道路の拡張および道路標識の整備を行政機関と一緒に進め、安全安心の町づくりの推進を図ります。
つながる	知る	<ul style="list-style-type: none"> ● 連合町内会や地区社協の催しや活動内容を効果的に伝えていきます。 ● 「社協」とは何かを周知します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 師岡地区ホームページ（以下HP）の運営スタッフと情報発信者を増やし、充実していきます。 ● HPを活用し、行事の予定や報告、活動内容を知らせていきます。 <div style="text-align: center;">  <p>わが町 師岡 検索 ← クリック</p> <p>http://yok-morooka.jp</p> </div>
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民の集まる場所を確保し、住民の連携を深め、活動の充実を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● シニアや若いお母さん、子どもを対象にしたパソコン講座の開催をさらに進めます。あわせて、タブレットやスマートフォン等の使い方について伝えていきます。 ● 地域の清掃活動を通して声かけを行い、日頃の隣近所のお付き合いのきっかけとしていきます。子どもと一緒に参加することにより地域への愛着心を育成します。
つとめる	支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害時に援護を必要とする人を把握するとともに、避難支援の方法を検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 町内会ごとに組織している「チーム（町内会）ささえあい♥」（要援護者の見守り隊）の活動を継続します。 <ul style="list-style-type: none"> ・見守り活動中は、名札を着用します。 ・見守り担当者が緊急連絡先を把握することで、緊急時の迅速な支援につなげます。連絡先情報は定期的に確認します。 ・要援護者や家族に、町内会で実施できる災害時支援や災害に関する情報を届けます。 ● 災害時に要援護者の安否を確認する方法（黄色いハンカチの掲出など）の検討や、防災拠点への避難方法を検討していきます。

6 「ひっとプラン港北」師岡地区計画（「わが町師岡」）推進委員会

構成メンバー：師岡地区連合町内会

師岡地区社会福祉協議会

師岡地区ネットワーク

私達の町には、団体・企業・学校等、さまざまなグループがあり、地域活動を支援しています。なかでも、師岡地区連合町内会では、21の事業部が地域活動を行っています。

ここで師岡地区のネットワークとしてご紹介します。皆さんと「協働」して、「住み良い町づくり」に参加してみませんか？

民生委員児童委員

地域の情報を適切に把握し、相談に応じ、サービスの情報提供をしています。

老人クラブ

ゲートボール・グランドゴルフ・囲碁将棋・俳句・カラオケ・旅行等を行い、健康・友愛・奉仕の目標に向い努めています。

女性部

お互いの親睦を図りつつ教養を高める事を目的に活動しています。施設見学会、新年会、講習会、講演会等行っています。

青少年指導部

「青少年の健全育成」を願い、ペットボトルロケット大会、ボーリング大会、ふれあいコンサート、自然体験教室、声かけ運動等を行っています。

ジュニアーズ

環境事業推進部

「ヨコハマ3R夢！」をスタートし、限りある資源を大切に使い、脱温暖化に向け取り組んでいます。

ひまわり

「サロン・月曜会」では四季折々の行事を取り入れ、三世代交流をはかります。他にもバザー、講習会等行っています。

防犯防災部

防災訓練時には防災会・家庭防災部と連携して活動を行っています。

ミニバスケットボール部

剣道部

消費生活推進部

エコ活動、詐欺防止活動等、区役所や警察署と協力し、行っています。

ソフトボール部

スポーツ推進部

町民のスポーツの実技指導や助言を行い、楽しさを伝えたり、より良い環境づくりに努めています。もちつき大会、グランドゴルフ大会、ペタンク等を行っています。

防災会

防犯防災部と連携し、いっとき避難場所での訓練を支援します。

バレーボール部

テニス部

保健活動推進部

講師の指導を受けての「ウォーキング」活動を推進しています。

家庭防災部

地域における防災活動の担い手として、防災訓練等に協力しています。

子供会育成部

子どもたちが「明るく」「健全に」育まれる様、お楽しみ会を開催しています。連合町内会の各行事に参加、協力しています。

広報部

ホームページ
広報紙

保護司

樽町中学校
師岡小学校
はまっこふれあいスクール
学童保育所
ともだちの丘

師岡地区連合町内会
打越町内会
南町内会
仲町内会
表谷町内会
師岡地区社会福祉協議会
「ひっとプラン港北」
師岡地区計画推進委員会

トレッサ横浜
コミュニティハウス

『あいの町大倉山』

— ふれあい・支えあい・助けあい —



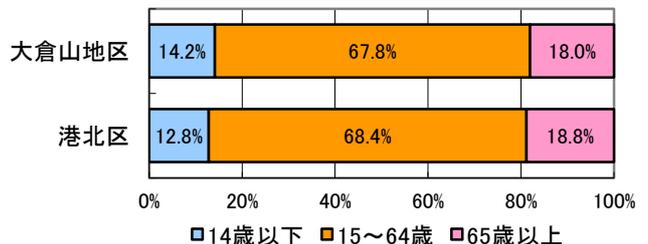
1 大倉山地区の人口

大倉山地区の人口と世帯数

	世帯数	人口	平均世帯人員
大倉山地区	11,959	25,253	2.11
港北区	163,761	337,500	2.06

*平成 27 年 3 月末現在

年齢3区分別人口構成



*「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画の愛称です。

2 平成26年度の取り組み状況

私たちのまちでは、連合町会が主体の定例行事として健民祭、各種スポーツ大会、シニアクラブ連合会・防犯・防災等の活動や、祭礼、盆踊り、少年少女相撲大会など種々交流事業が行われています。また、福祉保健の分野では、大倉山地区社会福祉協議会が主体になって推進し、**高齢者部会・青少年部会・子育て支援部会・地域健康部会・ボランティア部会(元気づくりステーション)・太尾ふれあいクラブ(高齢者への家事支援)**を定期的に運営しています。加えて地域福祉保健計画事業として下記の活動を順次立ち上げ、『継続は力なり』をモットーとして、今後も推進していきます。

①地元を知ろう！太尾健康ウォーキング、②大倉山支えあい祭り、③災害時に備えた要援護者の見守り支えあいの仕組みづくり、④太尾ITサロン、⑤大倉山便利マップの作成、⑥みんなの居場所の整備・活用、⑦大倉山夢まちづくり・大倉山さくらまつり、等・・・写真でそれらの一部を紹介します。

【高齢者部会】

手品を楽しむ



「お茶とお話しの会」 年2回、

布ぞうり作り



「ふれんどサロン“いこい”」 年5回

クリスマスリース作り



写経を体験



【子育て支援部会・太尾っ子広場】

毎月、第一金曜日 10時より (5月はお母さんのための講座)

七夕かざり作り



ハロウィン



親子ふれあい遊び



母親の講座：子育てワークショップ



【地域健康部会(グラウンドゴルフ春・秋、ペタンク、地元を知ろう！健康ウォーキング)】 年4回

グラウンドゴルフ



ペタンク



ウォーキング(記念館坂をのぼる)



ウォーキング(大倉山記念館見学)



【青少年部会】 (青少年の環境健全化)： 通年



「青パト」で防犯活動



【ボランティア部会・元気づくりステーション】

転倒骨折予防体操



健康講座 (口腔講座)



健康体操&講座、介護予防

7コーションで懐かしい歌を！



【太尾ふれあいクラブ】 (高齢者への家事支援) 通年

家事支援 (掃除)



家事支援 (草取り)



ボランティアさんとの交流会



大倉山支えあい祭り

毎年3月に太尾防犯拠点センターにて開催

会場入出口



子ども 踏み台作り



スーパースポールすくい



もちつき



手打ちそば



野菜・花の朝市



どろっぷコーナー



会場内の賑わい



大倉山夢まちづくり・大倉山さくらまつり 太尾公園にて第4回さくらまつり開催

さくらまつり会場入口



公園内模擬店風景



太尾堤緑道の模擬店



太尾堤緑道フリーマーケット



バンド演奏



港北高校吹奏学部



キッズダンス



さくら会踊り



3 平成27年度の取り組みについて

- (1) 一昨年から取り入れた「元気づくりステーション」は太尾防犯拠点センターを主な拠点としていますが、各町会の会館を借用した出張方式を併用し、大倉山1～7丁目の住民が近くの会場に容易に参加できるよう配慮し推進しています。お近くの会場にお気軽にご参加下さい。
- (2) 大倉山支えあい祭り、大倉山夢まちづくり・さくらまつり等の事業では、連合町会・単位町会・商店街・地区社協をはじめ、地域の諸施設・団体の皆様と連携を密にし、且つ行政の支援をいただきながら、より良いまちづくりを協働で推進していきます。
- (3) 一人暮らしの高齢の方の見守りを今年も推進します。(民生委員活動及び区役所からの要援護者名簿をもとに日頃から安否確認の訪問を行い、いざ災害時に備えていきます)
- (4) 今年度は、横浜市の旗印でもある健康づくりに関わる活動を重点事業として追加し、健康で明るく住み良い町づくりを目指していきます。
 - ①「よこはまウォーキングポイント事業」への積極的な参加を啓発していきます。
 - ②かねてより検討を進めていた「回遊性を持たせた鶴見川周辺の緑道の整備と活用」について一歩踏み込んだ取組みを検討します。

…例)：ノルディックウォーキング、お散歩ウォーキング(仮称)、お花見ウォーキング(仮称)等

推進委員の構成

- ・大倉山地区連合町会
- ・大倉山地区社会福祉協議会
- ・大倉山地区民生委員児童委員協議会

大倉山地区 地域活動の概要

<大倉山地区連合町会>

<大倉山地区社会福祉協議会>

①. 健民祭

②. シニアクラブ連合

・クラブ(8団体)毎の活動

敬老会、茶話会、お花見、健康体操等

・グラウンドゴルフ

・カラオケ大会

・バス旅行

③. 防犯連絡協議会

・子ども110番の家

・防犯研修会

・防犯マップづくり

・防犯キャンペーン

・青パトによる巡回

④. スポーツ推進委員協議会

・ソフトボール大会

・ソフトバレー大会

・駅伝大会(走ろう会)

⑤. 青少年指導員協議会

・ペットボトルロケット大会

・サマーデイキャンプ

・防犯パトロール

⑥. 太尾神社例大祭

・演芸、神輿、山車

⑦. 子どもと親の盆踊り

⑧. 港北消防団太尾班

⑨. 大綱中、医療救護隊参集拠点

⑩. 大綱小、太尾小地域防災拠点

<消費生活推進委員会>

・研修&エコ製品づくり、等

<保健活動推進委員会>

・介護予防、健康づくり等

<環境事業推進委員会>

<家庭防災員>

<その他活動>

・太尾少年少女相撲大会

<大倉山夢まちづくり>

- ①連合町会、商店街等が合同で立ち上げ(H22.6.24)
- ②大倉山記念館、梅林まわりの案内看板等の整備
- ③大倉山さくらまつりへ展開(桜の植樹を推進)
- ④H26年度 第4回さくらまつりを開催(太尾公園)
- ⑤川まちづくりプロジェクトへの展開

<港北区役所>

<大倉山地区民生委員児童委員協議会>

・災害時における要援護者の安否確認-見守り訪問

・75歳以上ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」(横浜市 H24~)

地域住民全般

高齢者

青少年

子ども

障害者

・新旧住民の交流
・異世代間住民の交流

太尾防犯拠点センター
(みんなの居場所)

学校関係

港北高校
大綱中学校
大綱小学校
太尾小学校

大綱中コミュニティハウス

学童保育
クラブ

太尾学童保育クラブ

太尾第二学童保育クラブ

子育て支援
施設

港北区地域子育て支援拠点
どろっぷ
大倉山アソカ幼稚園
太尾保育園
おおくらやまえきまえ
のぞみ保育園
たんぼほ保育園

くっくおさんぽ保育園大倉山
聖保育園
森の樹保育園
アスク大倉山保育園
わおわお大倉山保育園
くっくおさんぽ保育園ふとお

障害者施設

わーくす太尾
HIKARI作業所
K・すぺーす

<地域福祉保健計画推進委員会>

港北区地域福祉保健計画推進事業 (H18.4~)

ひっとプラン地区別計画:『**あいの町大倉山**』

・地元を知ろう! 太尾健康ウォーキング

・大倉山支えあい祭り

・災害時における要援護者の見守り支えあい仕組みづくり

・太尾ITサロン

・大倉山便利マップの作成

<元気づくりステーション事業>

- ①地区社協が推進母体として実施(H25.4~)
- ②ボランティア部会、保健活動推進員、高齢者部会、シニアクラブの活動の中で取り組んでいく
- ③防犯拠点センターを中心に、各町内会館を利用

<港北区社会福祉協議会>

<社協・部会活動の概略>

ア. 高齢者部会

・一人暮らし高齢者のお茶とお話しの会

・太尾フレンドサロン「いこい」
70歳以上高齢者世帯等対象のサロン

イ. 青少年部会

・青少年環境健全化活動

ウ. 子育て支援部会、太尾っ子広場

<未就園児童と保護者を対象にしたサロン>
・七夕飾りづくり、クリスマスリースづくり、
親子でリズム体操、等 (年10回開催)
・母親のための育児教育(幼児の靴着、救急処置)
勉強の間、スタッフが児童の保育を担当

エ. 地域健康部会

・グラウンドゴルフ交流会(春・秋)

・ペタンク交流会

・ウォーキングの集い

オ. ボランティア部会

(元気づくりステーション)

・健康体操 (はまちゃん体操等)

・福祉講座(介護・認知症予防、口腔ケア等)

・体力向上プログラム

・障害者・施設に対する支援

カ. 太尾ふれあいクラブ

(高齢者への家事支援、等)

・買い物、掃除、洗濯、草取り、枝払い、
ゴミ出し、見守り・声かけ、パソコン指導、等

・担い手の発掘、増員計画推進中

キ. みんなの居場所での活動

・支えあい祭り、ウォーキング、ペタンク、
グラウンドゴルフ、等

・福祉相談、防犯相談、等

・ボランティア活動(エコ畑、各種教室、等)

・異世代交流(囲碁、将棋他)

・研修会、各種会議

・どろっぷ、わーくす太尾、子ども達等が利用

A. 学校関係の地域活動

・学家地連活動への参加

・ふれあい給食会への参加

・学援隊活動への参加

B. 「3R夢ふれあいフェスタ」への協賛

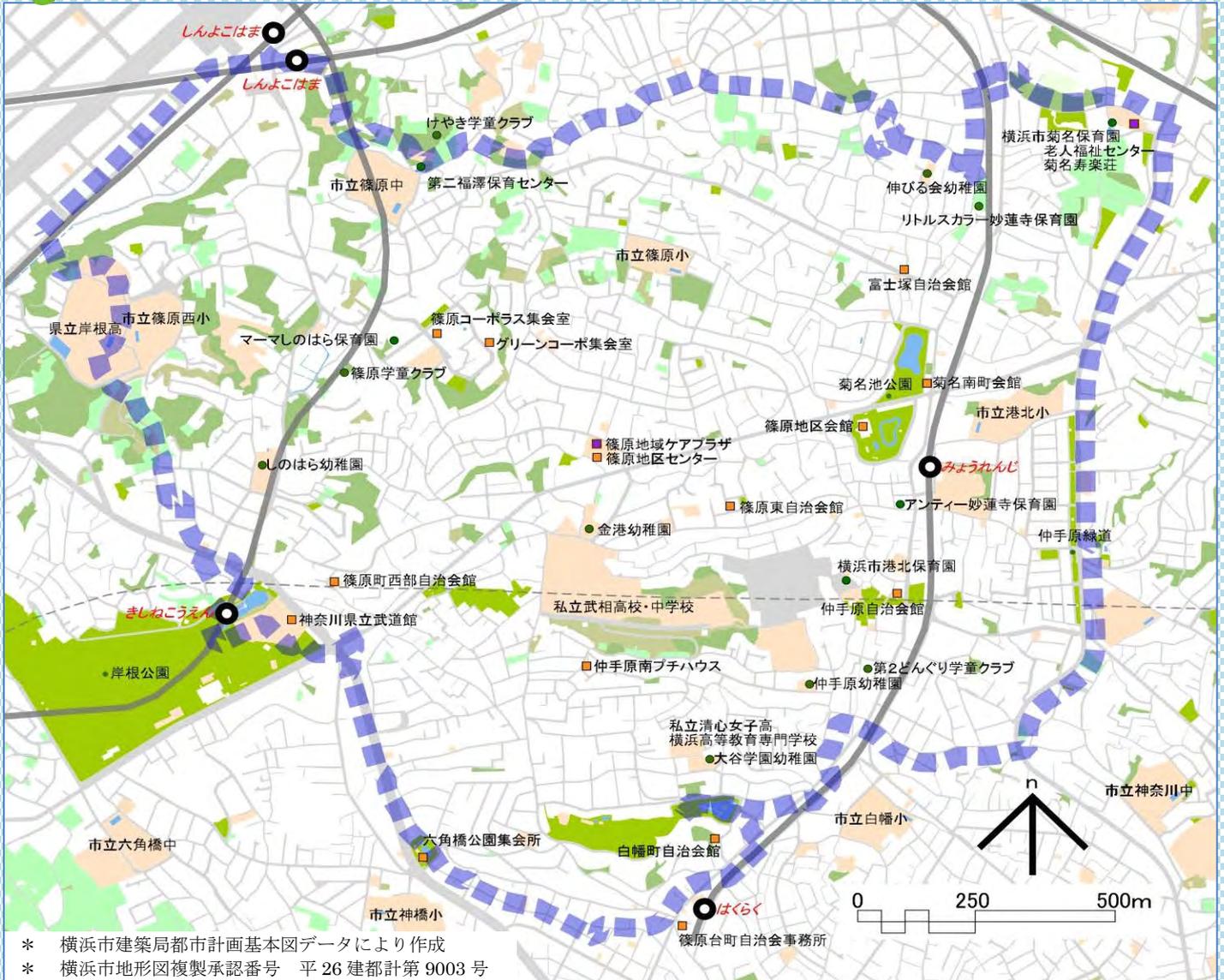
C. 子育て支援「どろっぷデー」への協力

D. ケアプラザ「ワクワク祭り」への協賛

<大豆戸地域ケアプラザ>

保存版

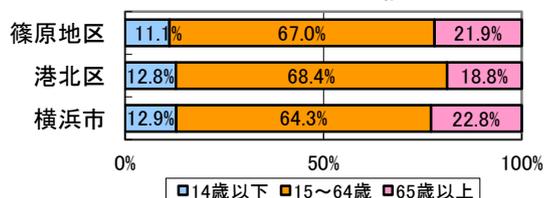
わがまち篠原



篠原地区は、菊名・富士塚・篠原町・篠原西町・仲手原・篠原台町・篠原東の7つの町に分かれており、10の自治会があります。人口は区内でも3番目に多く、約3万5千人の方が暮らしています。地区の東部に東急東横線、北部に横浜線、西部に市営地下鉄の駅があり、特に横浜の陸の玄関、新横浜駅に隣接しているなど、交通の便が良い地区です。

土地は起伏に富み、細い道も多いですが、緑が多く、環境の良いところが自慢です。ボランティア活動も盛んで、地域での子育て支援、高齢化への対応など取り組みが活発です。現在は、担い手を増やす取り組みや様々な活動を行っている多くの団体をつなぐ取り組みを行っており、特に若い人や、男性が参加しやすい環境づくりを検討しています。

年齢3区分別人口構成



世帯数と人口

	世帯数	人口	平均世帯人員
篠原地区	17,616	35,499	2.02
港北区	163,761	337,500	2.06
横浜市	1,727,943	3,722,428	2.15

※「ひとつプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画の愛称です。

これまでの取り組み

篠原地区では、自治会やボランティア団体によって、各自治会館でのミニデイサービス、育児サークルなど、さまざまな福祉活動が古くから行われていました。平成18年度から始まった「わがまち篠原」は、それらの活動をさらに充実させ、また、地域住民が活動団体の枠を超えて安全で安心して暮らせるまちを作るため、「交流」「ボランティア」「安全・安心」「相談・情報(ホームページ)」という4つのテーマで分科会を組織し、活動しています。



<昼食会>



<子育てサロン「らっこ」>

～しのはら地区の活動イメージ～

ミニデイサービス

菊名南(ひな菊)・富士塚(いこいの会)
篠原東(いこいの集い)・仲手原(みちくさの会)
仲手原南(夢クラブ)・篠原町(お茶の間)
篠原西町(西町のつどい)・篠原台町(みどりの会)
篠原コポラス、篠原町グリーンコポ(なごみ会)

ひとり暮らし
昼食会

子育てサロン
「らっこ」

わがまち篠原

交流分科会	ボランティア分科会
安全・安心分科会	ホームページ分科会

コーヒーフレンド
「しのはら」

公園遊び・サロン
しのはらランド

<しのはら人生一服亭>



お茶のみサロン
しのはら人生
一服亭

ボランティア相談
しのはら
相談室



<公園遊び・サロン「しのはらランド」>

～4つの分科会の活動～

交流

平成24年度から進めてきた障がい児放課後余暇支援事業の名称を「とも・とも篠原」に決め、昨年度は年5回活動を行いました。ボランティアを募集し、毎回15名程の方が活動してくれました。参加された児童の保護者からは「活動が楽しいと自宅でも話している」、「少人数の中でコミュニケーションを取り合い、交流する機会となった。」との声をいただいています。今年度は6月から年6回開催予定です。



<とも・とも篠原のロゴマーク>



<ボランティアのみなさん>

ボランティア

これまで、文化祭でのパネル展示、障がい者の外出や通学支援をテーマにした講座の開催、養護学校への施設見学会を実施し、**ボランティアへの理解を深める活動**をしてきました。

男性ボランティア発掘のため「男のコーヒー淹れ方」講座を実施し、ご夫婦も含む参加者の方々に活動団体の紹介等をし、**ボランティアの裾野を広げる活動**をしています。



<住民向け講座の様子>



安全・安心

富士塚自治会では、要援護者を支援するボランティア隊「富士塚ささえ隊」による、安否確認の訓練を継続しました。

篠原台町自治会で「無事を知らせるマグネットシート」の配布、**菊名南町自治会**では「菊名南ささえ隊」の結成とボトルセットの配布、併せてささえ隊員ボランティアの募集拡大等に取り組みました。また、**篠原東自治会**も準備を進めています。日頃から顔の見える関係をつくっていくことが災害時に生きると考えています。



<安心カードと訓練の様子>



ホームページ

わがまち篠原（ホームページ）を立ち上げ、毎月2回の更新を行っています。

写真や動画を数多く掲載して見やすくする工夫を行い、**アクセス数も増加**しています。

地域のホームページとして行事の様子や様々な活動を紹介することにより、多くの方々の参加や活動の活性化につなげることを目指しています。

活動の様子を取材してくれる
レポーター募集中！

わがまち篠原

検索

ぜひ一度、ホームページをご覧ください！「わがまち篠原」で検索☆

<ホームページURLのQRコード>



これから目指していく姿

安全で安心して暮らせるまち
 ひとりひとりがつくる 篠原
 子どもも大人もいきいき 篠原
 みんなで声をかけ合う 篠原

わたしたちのまちの取り組み

篠原地区では、日々、さまざまな活動が活発に行われています。これからの「わがまち篠原」は、連合自治会や地区社会福祉協議会、各種団体と協力し、お互いの活動をひろげ、ネットワークをつくっていきます。

そのため「ひっとプラン港北」の3つのキーワード（ひろがる、つながる、とどく）を柱として、つぎのような具体策を掲げます。

キーワード		取 り 組 み	
		目 標	具 体 策
ひろがる	理解	●子育てサークルと地域ミニデイとの交流を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 自治会の状況に応じて、可能な開催方法を検討します。 開催場所を検討し、増やします。
	担い手	●ボランティアの交流を図り、新たなボランティアの可能性を広げます。	<ul style="list-style-type: none"> 引続きボランティア講座を実施します。 男性ボランティアや、高校生のボランティアなどを増やします。
つながる	知る	●障がい児の居場所づくりを行います。	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児の居場所「とも・とも篠原」を定期開催します。 障がい児への理解を深め、担い手の育成を図ります。
	活動	●地域活動の更なるネットワーク化を検討します。	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会や各団体の活動を尊重し、ボランティアの交流や、連絡協議会の設置など、横の連携を検討します。
とどく	情報	●ホームページを活用します。	<ul style="list-style-type: none"> 地域団体やサークルの活動予定や活動報告を紹介します。 写真・動画を増やし、充実させます。 レポーターを探します。
	早期発見	●安全・安心のため、要援護者を把握し、非常時のための支援活動を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 災害時のあんしんカード等を検討し、可能な自治会で具体的な形にします。

振り返りの仕方

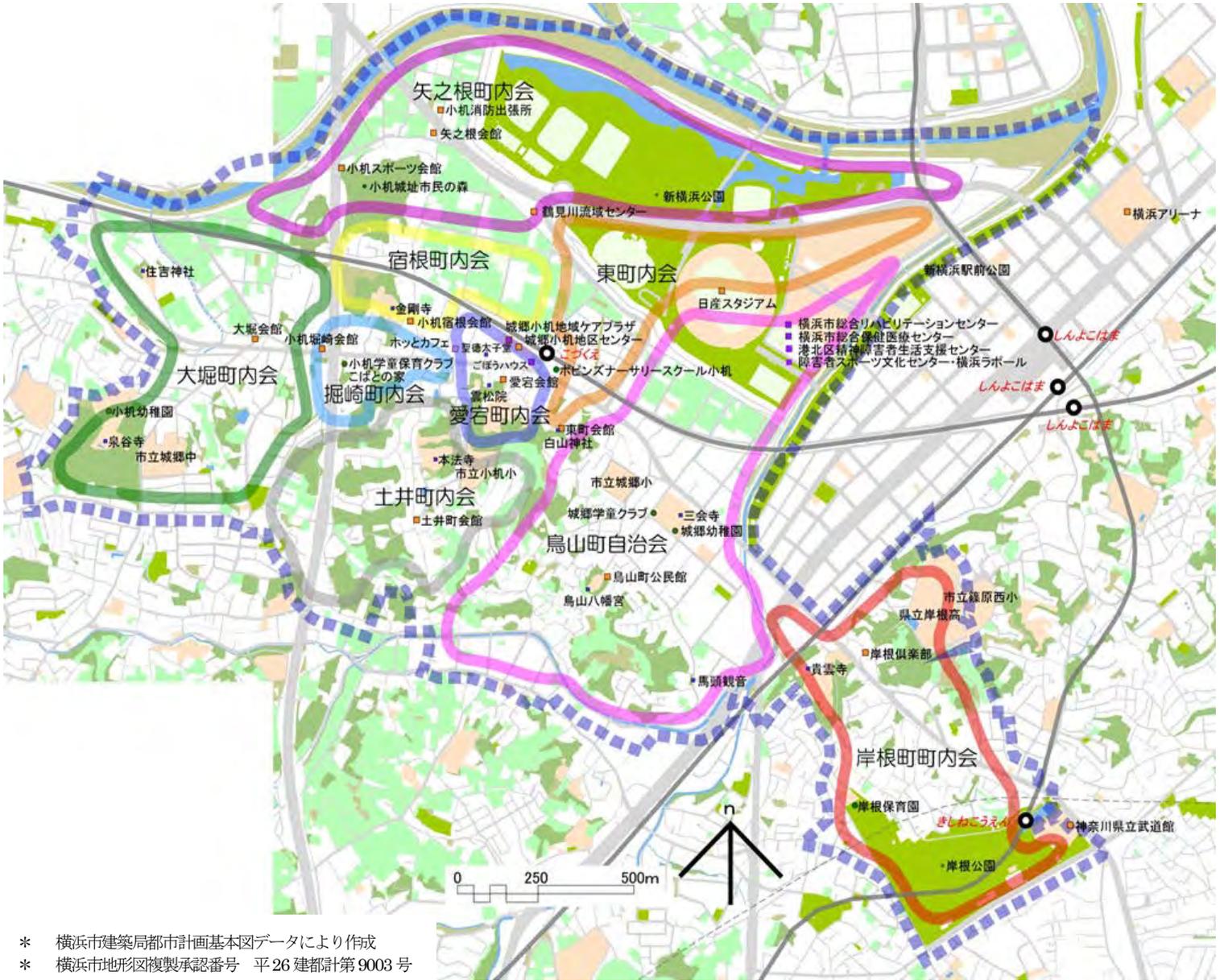
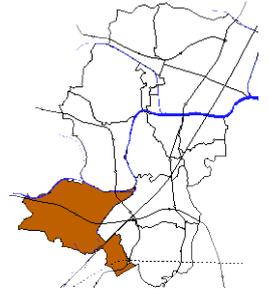
篠原地区地域福祉保健計画推進委員会にて、定期的に活動を振り返り、推進体制や具体化に向けた進め方などを検証します。あわせて目標と具体策に沿って進捗管理・推進を行います。各分科会を概ね2～3か月に1回開催し、年度末に活動報告会を開催します。

発行

「わがまち篠原」推進委員会 委員長 川島武俊(篠原地区連合自治会長)

問合せ先：港北区福祉保健課(☎540-2360) 港北区社会福祉協議会(☎547-2324)

たすけあうまち城郷



* 横浜市建築局都市計画基本図データにより作成
 * 横浜市地形図複製承認番号 平26建都計第9003号

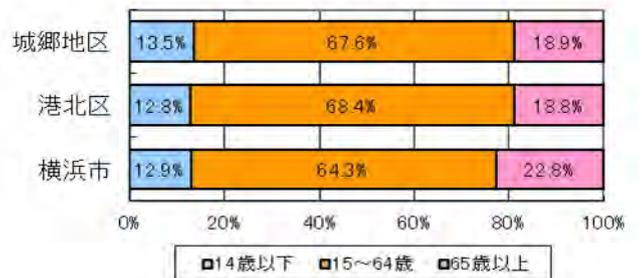
◆ 城郷地区の人口

世帯数と人口

	世帯数	人口	平均世帯人員
城郷地区	11,039	23,747	2.15
港北区	163,761	337,500	2.06
横浜市	1,727,943	3,722,428	2.15

*平成27年3月末現在

年齢3区分別人口構成



※「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画の愛称です。

1. わたしたちのまちの特色

城郷地区は、小机町・鳥山町・岸根町（小机大堀町内会・小机堀崎町内会・小机土井町内会・小机宿根町内会・小机矢之根町内会・小机愛宕町内会・小机東町内会・鳥山町自治会・岸根町内会）からなり、9つの自治会町内会があります。鉄道駅は、横浜線小机駅と市営地下鉄岸根公園駅があり、新横浜公園、岸根公園、小机城址市民の森、日産スタジアム、横浜労災病院、横浜ラポール、城郷小机地区センター、城郷小机地域ケアプラザなどが点在し、環境や施設などの資源に恵まれています。

現在の人口は23,747人で、約11,039世帯が住み、年々少しずつ増える傾向にあります。年少人口比率は13.5%と区の平均より高く、高齢化率は18.9%と区の平均並みとなっており、子育て支援と並行して高齢化への対応が徐々に大きな課題になりつつあります。

小机町と岸根町を中心に、子育て中の新住民の増加が目立ち、新旧住民の相互交流が必要になっているとともに、子育て支援や高齢者のミデイ、障がい者との交流、見守り活動等といったボランティア活動の担い手拡大や各福祉保健活動を横つなぎするネットワーク化の必要性が強まっています。



城郷小机地域ケアプラザ
城郷小机地区センター



小机城址まつり



子育てサロン

2. これまでの取り組み

◆第1期計画



◆第2期計画
ひっとプラン港北
「たすけあうまち城郷」

平成23年度
より始動!



◆4年間の歩みと成果
—第3期計画に向けて—

「交流」の取り組み

- ① 城郷小机ケアプラザによる情報の発信機能強化
- ② 「しろさと地区放課後プラザ」設置
- ③ 「ホッとカフェ」の開設
- ④ 「城郷ひろば」「ふれあい昼食会」「城郷よってこ会」の活動
- ⑤ 転倒予防体操や健康体操などのグループ活動
- ⑥ 家事支援ボランティア「城郷ふれあいの会」の活動

「情報・相談」の取り組み

- ① 『ふくしの城郷』『城郷福祉の伝言板』等の発行
- ② 家庭用緊急カードの全戸配布
- ③ 地区民見協による子育てサロンの開催

「ボランティア・担い手」の取り組み

- ① 多くのボランティアが登録し、活動が定着
- ② 自治会町内会によるチラシの配布や掲示板募集案内

6つの取り組み

- ① 城郷よってこ会の地域展開
- ② 城郷地区ボランティア連絡会の取り組み
- ③ しろさと地区放課後プラザの支援
- ④ ホッとカフェへの地域支援
- ⑤ 自治会町内会との連携強化
- ⑥ 見守り活動定着への支援

4年間の歩みと成果

関係者の頑張りや地域の理解と協力により、着実に成果をあげつつあります。

一方では、城郷地区支えあい連絡会が取り進めた「城郷地区見守りネットワーク構築支援事業」の成果に基づき、各自治会町内会の特色を生かした「見守り活動」が地域に定着しつつあります。

3. これから目指していく姿

地域みんなが「たすけあうまち城郷」を合言葉に、「ひっとプラン」の基本理念である「誰もが安心して暮らせる城郷」の実現を目指していきます。

- (1) みんなが世代や立場を越えて『交流するまち城郷』の実現
- (2) 必要な情報が伝わり、相談しやすい『安心のまち城郷』の実現
- (3) 助け合いや支援の輪が『とどくまち城郷』の実現
- (4) 担い手が広がり、活動が『つながるまち城郷』の実現

4. わたしたちのまちの取り組み

キーワード	取組み		
	目標	具体策	
ひろがる	理解	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会町内会活動との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○地区連町会議への適切な依頼・報告による理解の促進 ○イベントカレンダーの作成
	担い手	<ul style="list-style-type: none"> ●城郷地区ボランティア連絡会の取り組み <p>各自治会町内会及び各テーマで活動するボランティアグループが協働して、担い手問題等に取組む。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○理事会を定期的で開催する ○ボランティア団体相互の情報交換を密にする。 ※情報交換の中から必要に応じて以下の事柄にも取組む ○ボランティア相互の交流を図る ○担い手育成のための講座を開催する
つながる	町や人を知る	<ul style="list-style-type: none"> ●地区社協活動を通じた、地域福祉保健活動のネットワーク化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○現状把握と対応策の検討
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ●ホッとカフェへの地域支援 <p>※みんなの居場所 =誰もが集える交流の場作りを支援する事業 地域との関わり強化</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の地域開放利用の促進 (掲示板へのチラシの掲示、リーフレットの回覧など) ○地域の集まりや交流事業への参加 (運営するお母さんによる地域との関係づくり) ○ホッとカフェ内に地区社協事務所を設置、運営
とどく	支援	<ul style="list-style-type: none"> ●城郷よってこ会の地域開催 <p>毎月行う高齢者サロン「城郷よってこ会」をできるところ(自治会町内会単位)でできる形で実施。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○開催場所の検討・確保 (町内会館・公民館等) ○ホッとカフェ内での「ミニよってこ会」の定期開催
		<ul style="list-style-type: none"> ●しろさと地区放課後プラザの支援 <p>ダウン症、自閉症等の発達障がいのある子どもの居場所事業。定期開催と内容の充実。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学校との連携の継続 ○ボランティアの増員 ○定期開催(15回/年)
	発見 早期	<ul style="list-style-type: none"> ●見守り活動定着化への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○各自治会町内会の特色に応じた活動を展開する。

5. ふり返りの仕方

「たすけあうまち城郷」推進委員会が、1年ごとに活動をふり返り、推進体制や具体化に向けた進め方などを検証する司令塔的な役割を果たします。

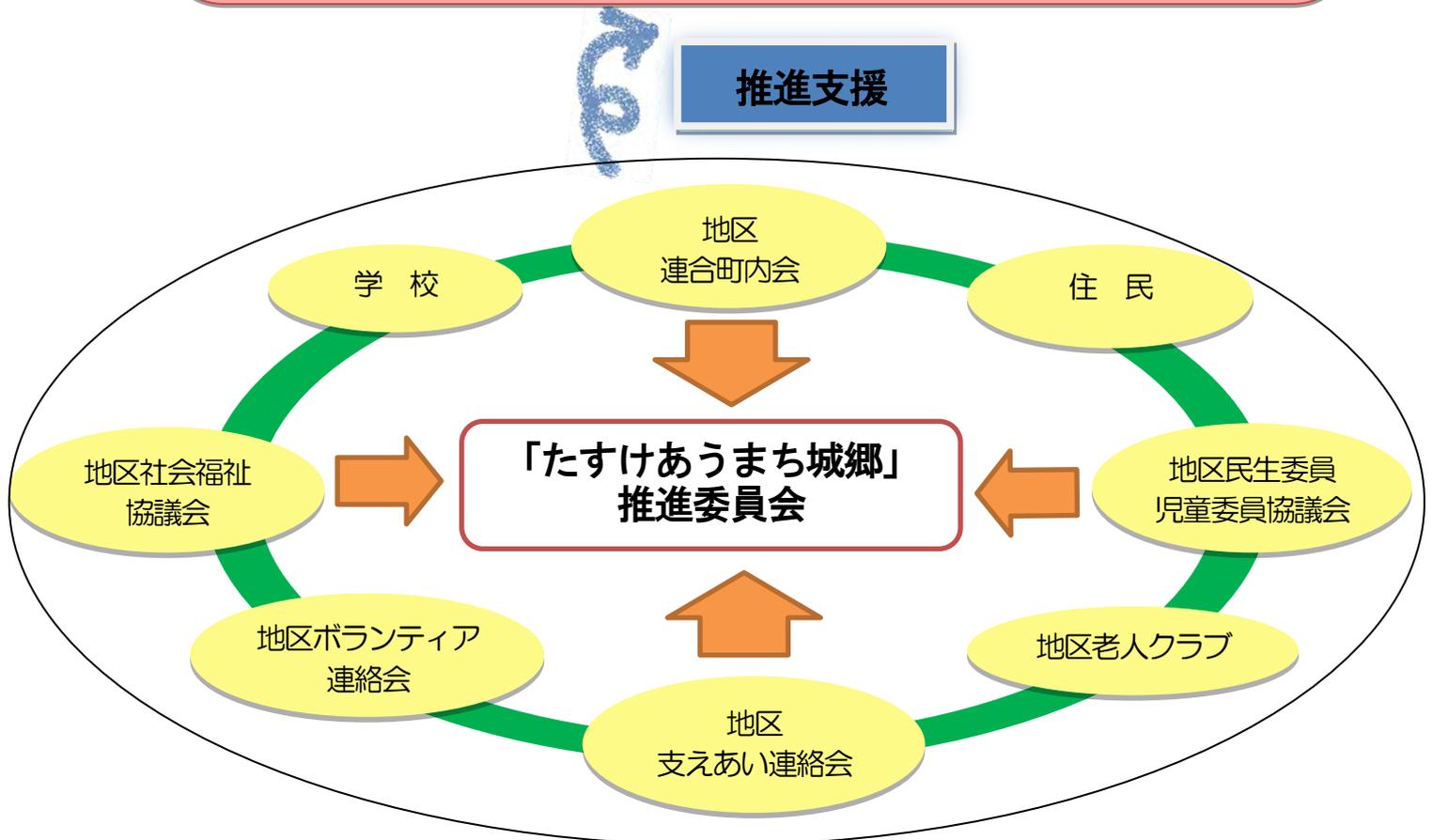
平成27年度も、6つの取り組みごとに、リーダーを中心として推進、検証を進めます。

【計画推進体制】

「誰もが安心して暮らせるまち城郷の実現」

<6つの取り組み>

- 城郷よってこ会の地域展開
- しろさと地区放課後プラザへの支援
- 自治会町内会との連携強化
- ボランティア連絡会の取り組み
- ホットカフェへの地域支援
- 見守り活動定着への支援



6. 活動風景（写真）



城郷ふれあいの会の活動



小学生向け見守り講演会



しろさと地区放課後プラザの活動

「たすけあうまち城郷」推進委員会発行

◆お問い合わせ 城郷地区社会福祉協議会 事務所(ホットカフェ内)

TEL : 045-473-6300

～これまでの取り組み～

平成23年に「和・輪・話」のまちにっばを旗印にスタートしたひっとプラン港北の活動も今年が最終年となりました。それぞれの分科会が新羽町に必要な活動を進めることによって地域の皆さんに少しずつではありますが理解されてきていると思います。イベントカレンダーは年間を通して掲示され、ウォーキング、花見、敬老の集い等定例化された活動となってきました。新羽町に福祉保健の拠点となる施設、地域ケアプラザ・コミュニティハウスができたことは大きな喜びです。1周年を迎えたこの施設をみんなで利用し住みよいまちづくりに役立てていきましょう。

☆町を知る分科会

気軽に散策できるように新羽町の散策マップを作成し、全戸配布しました。散策することで色々な発見があるでしょう。新羽地域ケアプラザ・コミュニティハウスを活用し、皆様と一緒に会を開き、年齢性別問わず会話の輪を作りたいと思います。



★異世代交流分科会

昨年度は小学校での餅つき大会に、新たに「バルーンアート」ブースを開設し、また8町会集まっての「合同敬老の集い」をサポートしました。世代を超え子どもからお年寄りまで、皆が楽しく集う行事が新羽にはたくさんあります。今年度は他団体とも情報を共有し、さらに幅広く異世代交流活動を展開していきます。



☆情報の共有・周知分科会

「にっば」2014～2015年イベントカレンダーを作成し、町内会員宅に全戸配布しました。また、新たに転入されてきた方には掲示や不動産会社を通じた配布をしました。今後も町のニーズを集約して「カレンダー」に反映させ、情報の発信に努めます。

～新羽写真館～



夏越の大祓式 茅の輪くぐり



「横浜市無形民俗文化財」
注連引き大蛇百万遍



鶴見川舟運復活プロジェクト

～これから目指していく姿～

新羽地区6，279世帯の絆をより強くし、「思いやりと花と緑のまちづくり」のために、次の4点を基本テーマとして、地域福祉の取り組みを進めます。

- (1) 災害時に援護が必要な人の把握を進め、より充実した活動にしていく。
- (2) 地域の福祉活動の情報の共有や周知の徹底を図る。
- (3) 異世代交流を、より活発にしていく。
- (4) 「新羽」の町を知る活動を進める。

～わたしたちの町の取り組み～

		取り組み	
		目標	具体策
ひろがる	異世代交流	<ul style="list-style-type: none"> ・地域にある活動グループの周知 ・役員相互の連絡協力ができる体制づくり ・趣味サークル、クラブを通じた交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・町会定例会で、役員にお願いする ・地域ケアプラザ・コミュニティハウスと連携する
	町を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・町を愛してもらい、町の現状を知る、町の地理を知る ・町内会各役員（地区社協評議員）及び有志を中心に担い手を確保する 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民に見どころの多い「にっば」をPRする
	情報の共有・周知	<ul style="list-style-type: none"> ・人材募集のPRの仕方を工夫し、60歳以上の人達にも活躍してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会役員会等、各種委員会にてPRする
つながる	異世代交流	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の各種団体同士の連携 ・グループの催し物などに他のグループが参加し、協力するようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・「パワーアップにっば」と老人会がハイキングを計画する ・青少年指導員、スポーツ推進委員、子ども会の活用を図る ・「竹の子にっば」の芋煮会に「たんぼぼにっば」が参加し、「たんぼぼにっば」を老人会が手伝える
	町を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・名所を巡るとともに、福祉施設や避難場所を覚える ・様々な世代が利用できる山間部と緑道の散策ルートをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイキング、ウォーキングのルートや見所のマップをつくる
	情報の共有・周知	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年指導員、スポーツ推進委員、町会、子ども会、民生委員児童委員、ボランティア団体それぞれの活動をつなげる ・小中学校との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体と連携して、新羽地区の催し物カレンダーを作って配布する ・学校・家庭・地域連絡協議会に積極的に参加する
とどく	異世代交流	<ul style="list-style-type: none"> ・地域異世代交流イベントの周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体と連携し、各町会の掲示板、回覧板にて催事を周知する
	町を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜や果物を直販しているところを知りたい、伝えたい ・鶴見川周辺にある資源をいかす 	<ul style="list-style-type: none"> ・マップをつくり、個人でも楽しめるようにする ・年2回程度ウォーキングを開催する ・鶴見川周辺でコスモスの植栽、ホテルの飛べる環境の再生、10万本のチューリップ畑づくりなどを進める
	情報の共有・周知	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての人にすべての情報を届けるのではなく、必要な人に必要な情報が届くようにする ・老人会や敬老会行事を通じて高齢者や独居者の情報把握を進める。行政との連携も進める 	<ul style="list-style-type: none"> ・町会未加入者に対してもPRできるよう掲示板を増設し積極的に活用する ・パワーアップにっば、老人会、民生委員から情報を得る

『にっぱ』2015年～2016年イベントカレンダー みんなが参加できるもの



開催日		イベント	会場	主催
2015				
7月	5日(日)	新羽地区相撲大会	新羽小学校	新羽地区相撲連盟
	24日(金)	夏越の大祓 茅の輪くぐり	杉山神社(北新羽)	北・杉山神社
8月	22日(土)	新羽サマーフェスティバル	新羽中学校	新羽町連合町内会
9月	20日(日)	新羽町合同敬老の集い	新羽中学校	新羽町連合町内会 新羽地区社協 異世代交流分科会
10月	4日(日)	新羽神輿渡御	杉山神社	新羽神輿会
	6日(火)	杉山神社 例大祭	杉山神社	杉山神社 奉賛会
	11日(日)	北新羽神輿渡御・例大祭	杉山神社(北新羽)	北・杉山神社 奉賛会 北神輿会
	17日(土)	ふるさと港北 ふれあい祭り	新横浜駅前公園	ふるさと港北ふれあい まつり実行委員会
	18日(日)	新羽地区健民祭	新羽中学校	新羽町連合町内会
	下旬	「横浜市無形民俗文化財」 注連引き大蛇百万遍	新羽小学校 西方寺	注連引き大蛇百万遍 保存会
11月	31日(土)	防災訓練	新羽小学校	新羽小学校区 防災拠点運営委員会
	18日(水)	新羽親睦ゴルフ大会	鹿野山ゴルフ倶楽部	新羽親睦ゴルフ会 実行委員会
	22日(日)	グランドゴルフ大会	新羽小学校	新羽地区スポーツ 推進委員連絡協議会
12月	31日(木)	年越し除夜の鐘	西方寺	西方寺
2016				
1月	10日(日)	第31回 港北駅伝大会	小机フィールド	港北駅伝大会 実行委員会
2月	3日(水)	節分祭	杉山神社(北新羽)	北・杉山神社
3月	未定	パワーアップにっぱ ウォーキング	新羽周辺	パワーアップにっぱ
4月	20日(水)	新羽親睦ゴルフ大会	未定	新羽親睦ゴルフ会 実行委員会
5月	中旬	第6回 新羽地区パタンク大会	新羽小学校	新羽地区スポーツ 推進委員連絡協議会



新羽地区健民祭



新羽地区相撲大会



新羽連合
サマーフェスティバル



新羽町合同敬老の集い



新羽神輿渡御

★イベントカレンダーのお問い合わせ 横浜市新羽地域ケアプラザ・コミュニティハウス
電話：045-542-7207 担当：地域活動交流（9：00～17：00）

新羽町連合町内会
新羽地区社会福祉協議会
情報の共有・周知分科会

私たちのまちの取り組み

キーワード	取 り 組 み	
	目 標	具 体 策
ひろがる	理解	<ul style="list-style-type: none"> ◆認知症徘徊高齢者見守りネットワーク「さがしてネット」を地域を越えて連携を図り、きめ細かな体制作りをすすめます。 ◆子育て支援事業「よしだっこ」の継続支援活動の重要性を広めていきます。 ◆ボランティアセンター「やすらぎの家」の更なる周知を図ります。 ◆災害時要援護者の支援方を充実させていきます。
	担い手	<ul style="list-style-type: none"> ◆拠点プレートが地域でしっかり理解され協力が得られるよう周知していきます。 ◆新たな拠点の拡充と、メール配信、FAX 受信の協力者の増強を図ります。 ◆「よしだっこ」の開催情報が届くよう、さらに周知を図ると共に、内容の充実も進めていきます。 ◆新設看板を活用して、やすらぎの家の存在と活動が広く認識されるよう周知します。 ◆要援護者マップの作成に取り組みます。
つながる	知る	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域で活動しているグループと情報を共有できるよう交流を深めていきます。
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ◆「さがしてネット」に対する認識の維持、向上を図っていきます。 ◆模擬訓練の実施、定期的な情報の発信を行って、いつでも注意深く関心が持てるよう取り組みます。
とどく	情報	<ul style="list-style-type: none"> ◆必要な所に情報が届けられるよう工夫していきます。 ◆「やすらぎの家」をはじめ、地区センター、町内各所の掲示板へのチラシの掲示、また、各町内会班回覧などを行い啓発していきます。
	早期発見	<ul style="list-style-type: none"> ◆誰もが安心して暮らしていけるまちづくりの体制の強化を図っていきます。 ◆民生委員の協力を得ながら防災訓練時に安否確認訓練も共に行っていくよう方策を立てていきます。

いいな！みんなのまち 新吉田



認知症徘徊高齢者見守りネットワーク さがしてネットがはじまりました！

徘徊を想定した模擬訓練の様子(2015年1月)

拠点プレートの設置

「徘徊かな？」と思ったら～
さがしてネット
～徘徊高齢者連絡所～

連絡所が不在の場合
昼間 新吉田地域ケアプラザ 592-2151
夜間 港北警察署 546-0110

ほくほくフェスタでの取組発表 (2014年10月港北公会堂)

キャラバンメイトフォローアップ研修の取組 (2015年3月開港記念館)

ほっと新吉田
～ご利用案内～

新吉田地域の高齢者、障害のある方、「困りごと」に「手」をお貸しします。
申込み・お問合せ；祝日を除く月・水・金10時～15時

◆「やすらぎの家」 ☎/FAX 045-591-6480
◆「ほっと新吉田」 電話 080-5408-9228
080-6602-7809

港北区ボランティアセンター

やすらぎの家
～あなたの空いている時間を誰かの為に使いませんか～

「ボランティアを求めている人」「ボランティアをしたい人」からの相談窓口として橋渡しをします。
また、地域の様々な活動交流の場としても活躍しています。

☎ / FAX : 045-591-6480
開館日：月・水・金 10:00～15:00

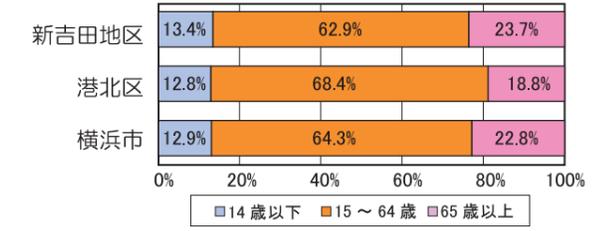
「やすらぎの家」は新吉田地区社会福祉協議会と港北区社会福祉協議会協働で運営を行っています。

世帯数と人口

	世帯数	人口	平均世帯人員
新吉田地区	8,371	18,676	2.23
港北区	163,761	337,500	2.06
横浜市	1,727,943	3,722,428	2.15

*平成27年3月末現在

年齢3区分別人口構成



「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画の愛称です。

災害時要援護者の支援

- ◆平成22年度に調査作成した「支え合いカード」の見直し・確認をしました。この内容を活かし援護の方法・具体的な方策などを検討していきます。
- ◆要援護者を対象にした安否確認訓練の実施も検討していきます。

高齢者への支援

- ◆徘徊高齢者の早期発見・保護を目的として立ち上がった「さがしてネット」を、地域を越えて連携を図り、きめ細かな体制づくりを進めていきます。
- ◆26年度、拠点の拡充を図りました。拠点の存在が地域でしっかり理解協力が得られるよう、周知していきます。
- ◆引き続き「さがしてネット」模擬訓練を行い、いつでも拠点ネットワークが円滑に機能するようにします。

子育て世帯への支援

- ◆未就園児子育てサロン「よしだっこ」の、益々の充実と参加しやすい環境作りを進めていきます。
- ◆親子で参加できる場を提供します。地域のイベント「ふれあい動物園」や、「もみじ畑の収穫体験会」など、地域の特性を活かし、顔と顔がつながる活動を行っています。

家族がいません！



徘徊している家族をさがしているときは、このプレートのかかっている連絡所（拠点）へ声をかけていただくか、プレートにある電話番号へ直接連絡をしてください。

「さがしてネット」が始まりました。

認知症徘徊高齢者の早期発見・保護を目的としています。次のようなときは連絡してくださいね。

1 私たちのまちは

浜なしやぶどう、タケノコや野菜もたくさん作られている自然いっぱいの中に、新しい街並みが融合した、温かく静かで、とても住みやすい所です。また、高齢者に優しい福祉保健施設が多くある所でもあります。

2 頑張った成果

◎初年度に取り組んだ災害時要援護者支援のための「支え合いカード」の見直し・確認作業を行いました。
◎子育て支援事業「よしだっこ」が民生児童委員の協力の元、順調に活動しています。益々の充実が期待されています。
◎念願であった徘徊高齢者見守りネットワーク「さがしてネット」が、地域を越えて大きく取りあげられました。ほくほくフェスタ、キャラバンメイト研修会での発表や福祉講座のテーマに取り上げたり、期待の程が伺えます。次々と高齢支援の課題解決に向けて取り組みました。

3 今年度の取組み

- 災害時要援護者支援の方策を充実させていきます。
- 徘徊高齢者見守りネットワーク「さがしてネット」をより解り易く地域に浸透させていく為の方策を検討して行きます。また、模擬訓練を、周辺地域と連携し引き続き実施します。
- 子育て支援事業「よしだっこ」の事業継続・拡大・周知を推進していきます。

みなさんの温かい協力をお願いします。

「徘徊かな？」と思ったら～
さがしてネット
～徘徊高齢者連絡所～

連絡所が不在の場合
昼間 新吉田地域ケアプラザ 592-2151
夜間 港北警察署 546-0110

見かけたら

見つけたら

保護したら

認知症徘徊高齢者を、「見つけた」「見かけた」「保護してる」ときもこのプレートのかかっている連絡所（拠点）かもしくは、直接上記のケアプラザ、警察へ連絡してください。



●各自治会会館所在地

新吉田地域ケアプラザ
花みずき
横浜らいず
ひばり
港北みどり園
怡土新吉田
ウエルケア新吉田
かしの木ホーム
よつばホーム
ナーシングプラザ港北

新吉田第二小
北部町内会
本町町内会
中央町内会
新生町内会
西部町内会
新吉田町内会
新田郵便局
市立新田小

森のエルマー保育園
めぐみ保育園
コスモス保育園
新吉田学童保育所
こぼと保育園
新吉田郵便局
しんよしだ幼稚園
グリーンサラウンド
しんよしだ保育園
新生町内会館
東町会会館
南町会会館

よしだっこ
地域活動拠点
やすらぎの家
ふれあい動物園
新田公園

毎月第二木曜日10時から開催。未就園児対象。会館は畑の中にあり、安全・安心な環境。ピンクの幟旗が開催の目印です。参加無料

子育て家族対象の収穫体験会。土とふれあい、収穫の喜びをみんなで味わいます。地産地消にも一役かっています。

新田地区センターと成りの公園で毎年3月に開催する地域の一大イベントです。ポニーやかわいい動物たちが待っています。

かわいいうんばが目印です。新田地区センター入口手前左側の小さな建物です。月・水・金開館。気軽に立ち寄ってくださいね。045-591-6480

もっと・ホットに 「あすなろ」



新吉田あすなろ地区社会福祉協議会

さがしてネット

新吉田あすなろ地区支え合いネットワーク会議では、認知症高齢者の徘徊(はいかい)に注目し、徘徊高齢者を地域で早期に発見、拠点やケアプラザでの一時保護を行う、地域のネットワーク作りに取り組んでいます。このネットワークを「さがしてネット」と呼びます。

ケアプラザにご連絡くださると 連絡拠点に「さがして依頼シート」を一斉FAXをします。

「徘徊かな?」と思ったらご連絡ください。
さがしてネット
徘徊高齢者連絡所
 新吉田あすなろ地区社会福祉協議会

※連絡所がない場合
 新吉田地域ケアプラザ 592-2151
※9:00~17:00以外の時間帯は、警察署へ連絡してください。
 夜 港北警察署 546-0110

さがしてネット連絡拠点にはこのステッカーが貼ってあります。

さがしてネットメール配信始めました。

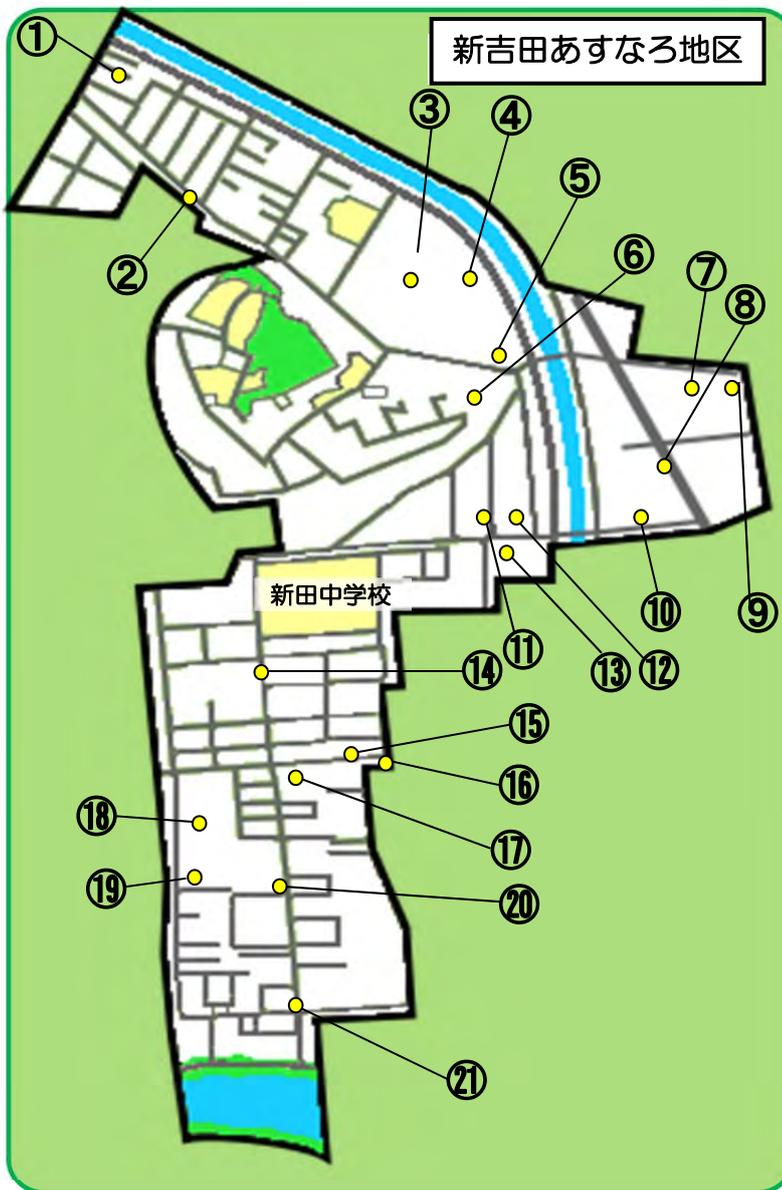
さがしてネットでは地域における徘徊高齢者を地域で早期に発見するための地域のネットワーク作りの拡大を目指し、メール配信システムを導入しました。地域住民の皆さまに登録していただき、認知症徘徊者で行方不明の方が出た際、その方の情報を皆さまの携帯電話にメールでお知らせいたします。登録はとても簡単！
 お手持ちの携帯電話で右のQRコードを読み込んでいただいた後、空メールを送れば完了となります。



QRコード

さがしてネットとは?

高齢者の徘徊を、ネットワークの力で出来るだけ早期に発見し、事故がなく保護する活動です。この仕組みを維持するため連絡拠点との連携や、住民向けに認知症の啓発研修などを開催しています。徘徊は地区を越えることがあるため、隣の新吉田地区にも呼びかけてきたところ、平成26年3月に開始となりました。



「さがしてネット」連絡拠点一覧

- | | | |
|-----------------------|----------------|----------------|
| ① 菊屋酒店 | ⑩ ホームセンターメイド | ⑲ 稲葉クリーニング |
| ② 商業地所 | ⑪ ライネスハイム綱島壹番館 | ⑳ グループホーム あすなろ |
| ③ フォルム綱島クレストワーズ | ⑫ ライネスハイム綱島貳番館 | ㉑ 理容サロン ウダ |
| ④ イトーピア綱島 Condominium | ⑬ 吉田米店 | |
| ⑤ 綱島パーク・ホームズ | ⑭ フジムラクリーニング | |
| ⑥ 名取建設工業株式会社 | ⑮ 平石クリーニング | |
| ⑦ 新田米店・クリーニング共和 | ⑯ 佐藤理容館 | |
| ⑧ みどり書房 | ⑰ 横浜新吉田郵便局 | |
| ⑨ いなげや綱島店 | ⑱ グリーンコーポ綱島 | |

【あすなろ地区外の拠点】

- 東急バス新羽営業所
- グループホームひかり
- イオン横浜新吉田店
- ロイヤルよつや 新吉田店
- Dr.Drive 新吉田 SS / (株)サンオータス

※「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画の愛称です。

1 わたしたちのまちの特色

新吉田あすなろ地区連合町内会には、合計 10 の自治会町内会があります。区域としては小さく、まちづくりの担い手となる人が少ないものの、まとまりは最高と自負しており、だれもが安心して住み続けられるまちづくりを頑張っています。

2 これまでの取り組み

新吉田あすなろ地区の 5 か年計画（平成 23～27 年度）に基づいて、次のように様々な活動を推進しています。

あすなろ地区 3 大イベント



納涼福祉盆踊り大会



防災訓練



ふれあい運動会

特に防災訓練では、障がいのある方の参加を含め年々新しいものを工夫して取り入れ、地域全体で取り組んでいます。災害時に支援が必要な方の把握を行い、日常的な見守りや災害時の支援方法などの検討も進めています。

★ さがしてネット発祥のまち あすなろ ★



26 年度は、新吉田地区（26 年 3 月開始）と合同で「さがしてネット模擬訓練」を実施しました。

★ 元気づくりステーションも充実 ★



健康体操やお茶を飲みながらためになる講話を聞くなどの様々な活動を行っています。

今後は、地域内での活動に対する理解を深めてもらえるように、あらゆる世代の方が気軽に参加できる仕組みづくりと担い手の確保をすすめていきます。

3 これから目指していく姿

新吉田あすなろ地区のスローガンに基づき福祉保健のまちづくり活動をすすめていきます。

- (1) みんながコミュニケーションをとれるまち あすなろ
- (2) 声かけと顔の見える関係づくりのまち あすなろ
- (3) 誰もが困っている人に手を差し伸べられるまち あすなろ
- (4) みんなが交流を深め、まちづくりに参加するまち あすなろ
- (5) 子どもも大人も安心して安全に生活できる、活力あるまち あすなろ



具体的なお知らせ(イベントの開催情報など)は掲示板や回覧板で
お知らせします。
楽しいお知らせがたくさんありますので、見てくださいね！

4 わたしたちのまちの取り組み

キーワード		取り組み	
		目標	具体策
ひらがな	理解	<ul style="list-style-type: none"> • みんながコミュニケーションをとれるまち • 声かけと顔の見える関係づくりのまち 	<ul style="list-style-type: none"> • 認知症の研修会の回数を増やししたり、障がい者やその家族との交流の機会を増やすなど、理解をひろげる取り組みを充実します。 • 「あすなろまつり」（グループホーム）への参加、障がい者施設の訪問・見学などを通じて、障がい者や高齢者への理解をひろげる取り組みを充実します。
	担い手	<ul style="list-style-type: none"> • みんなが交流を深め、まちづくりに参加するまち 	<ul style="list-style-type: none"> • 「納涼福祉盆踊り大会」、「お祭り広場」や「ふれあい運動会」「防災訓練」など地域全体で取り組む交流イベントで、地域福祉保健計画の活動のPRを行い、活動の周知や担い手の確保をすすめます。
つながる	知る	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもも大人も安心して安全に生活できる、活力あるまち 	<ul style="list-style-type: none"> • 「子育てサロン」を継続するなど、若い世代が安心して住めるような取り組みをすすめます。 • 「一人ぐらし高齢者サロン」「シルバー健康体操」「健康測定会」などの活動を充実させ、生活支援の必要な高齢者や元気な高齢者の健康維持など、高齢者が安心して元気に暮らせる環境づくりをすすめます。
	活動		<ul style="list-style-type: none"> • 隣接する地域と連携して「さがしてネット」をひろげていきます。合同で「さがしてネット模擬訓練」を行います。
ついつ	情報	<ul style="list-style-type: none"> • 誰もが困っている人に手を差し伸べられるまち 	<ul style="list-style-type: none"> • ケアプラザの講座やイベントなどを利用して、地域の行事などの情報が多くの人に届くよう工夫します。
	早期発見		<ul style="list-style-type: none"> • 推進委員会で検討します。 • 「さがしてネット」のしくみをより多くの地域の人に知ってもらうために、模擬訓練、認知症理解に関する講座等の啓発活動、チラシによる周知等を継続します。また「さがしてネット」のメール登録者を増やし、情報メール配信でより多くの人にすばやく情報が行きわたるようにし、認知症に対する理解を広げていきます。

5 ふり返りの仕方

推進委員会を定期的を開催して、「わたしたちのまちの取り組み」の達成状況を1年ごとにふり返るとともに、新たな取り組みなどを検討し目標とする地域の姿を実現していきます。

6 最後に

これからも皆さんの協力や支援を得ながら、この計画をもとに皆さんが新吉田あすなろ地区で安心して住み続けられるまちづくりをすすめていきます。

<推進委員会のメンバー>

新吉田あすなろ連合町内会、新吉田あすなろ地区社会福祉協議会



みんなが笑顔、 助け合いのまち高田

わたしたちのまちの活動

地域交流活動

高田で暮らす方どなたでも気軽に参加することができる活動です。地域を知り地域で楽しむことを目的としています。



- ・たかたの丘音楽会
- ・パタンク大会
- ・盆踊り
- ・大運動会
- ・高田Fes!
- ・グランドゴルフ大会 など

いろんな活動があって
「地域」
ができているんだね!



福祉保健活動

地域の福祉課題を地域に暮らす人たちが解決している活動です。赤ちゃんからお年寄りまで様々な人たちを支えています。

- ・生きいきサロン（高齢者サロン）
- ・親と子のつといの広場「たかたんのおうち」
- ・住宅自治会「ハートの会」
- ・見守り活動 など



まちの安全

防災から防犯まで、このまちを守る活動です。地域の安心安全を支える大切な役割を担っています。

- ・地域防災訓練
- ・防犯パトロール
- ・わんわんパトロール など



※「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画の愛称です。

高田マップ

保存版



*横浜市建築局都市計画基本図データにより作成
*横浜市地形図複製承認番号 平 26 建都計第 9003 号

防災拠点・いっとき避難場所

防災拠点	いっとき避難場所	自治会・町内会
高田東小学校	①高田公園	東町会
	②高田ひまわり公園	親和会、住宅親交会
	③桂幼稚園	住宅自治会
	④高田第六公園	高田町内会2区
	⑤高田第八公園	高田町内会2区
	※拠点に直接参集	高田町内会2区
高田中学校	⑥高田第七公園	高田町内会1区
	⑦高田西公園	高田町内会1区
	⑧高田第三公園	西原自治会
	⑨高田地域ケアプラザ駐車場	高田中央町内会
	※拠点に直接参集	高田町内会3区

★ 地域防災拠点
 ■ いっとき避難場所 ①～⑨
 ■ 公園

ご自分の町内会をご存知ですか

自治会町内会は、住みよい町づくりや住民交流の他に、災害に備え、いざというときに助け合う活動を行っています。お住いの地域の自治会町内会を知って活動に参加しましょう。

自治会町内会名	地域
高田町内会	高田町全域、 高田東一～四丁目・高田西一～五丁目 で他の町内会に属さない地域
高田町住宅自治会	高田町東一丁目 1～6番、7番の一部
高田町住宅親交会	高田町東一丁目 7番の一部、8～11番、 20～37番、43番の一部
高田東町会	高田東四丁目 1～16番
高田町親和会	高田東一丁目 12～19番、38～42番、 43番の一部 高田東二丁目 1～5番
高田中央町内会	高田西一丁目 1～6番、 高田西二丁目 1～5番、11～19番
自治会しらさか	高田東二丁目 10番、11番 1～10号、 12番 1～3号
高田西原自治会	高田西五丁目 10～29番、30番 16 ～22号、31番 4～6号、31番 19 号、33番 1～5号、33番 18～27号、 34番

高田地区には8つの自治会町内会があるのを知ってるかな？

高田地区の情報はこちら！

- 高田地区社会福祉協議会 広報たかた「翔」
- 高田地区社会福祉協議会 ホームページ
<http://www.takata-shakyo.info/index.html>

検索

- 高田地域ケアプラザの広報紙「高田つうしん」も御覧ください。

災害時要援護者支援

～各自治会町内会の取り組み～

	取り組み	
	目標	具体策
親和会	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者支援の取り組みを継続し、精度をあげて充実していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者を把握し、リストの精度を上げます。 要援護者の見守り活動を強化します。
自治会 しらすか	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者支援の取り組みを継続します。 	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者が「どのような支援を望んでいるか」をアンケートやヒアリングで聞き取り、支援活動の参考にします。
中央町内会	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者支援の取り組みを継続し、強化します。 	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者リストの精度をさらに上げます。 要援護者の見守り活動を強化します。
高田町内会	<ul style="list-style-type: none"> 支えあいカードの充実を図ります。 民生委員との連携をはかるためブロック分けを決定します。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、年2回の見守り活動を行います。 民生委員と町会理事が担当ブロック別に活動を進めます。
東町会	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者支援の取り組みを継続して行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者の支援体制を見直し、要援護者カードの更新を図ります。
住宅親交会	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者の状況把握とその精度アップに取り組みます。 災害時の避難のみならず多様化する被災者行動に役立つ仕組みを確立させるべく行動します。 	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員と定期的に情報交換を行うとともに、町内マップ（人名入り）の作成と要援護者のマッピングを進めます。 町内会としての自主防災マニュアルを作成し、それを指針として具体的活動内容につなげます。
西原自治会	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者支援の取り組み強化、確立を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者のリストを毎年見直し、さらに精度を高めます。 民生委員と情報を共有し、見守りの活動を進めます。 自治会内に要援護者の支援組織を立ち上げ、具体策を鋭意検討していきます。
住宅自治会	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者支援として具体的に町会として何をすべきか、何が出来るかを追求していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 月1回の顔出し、声かけを継続実施していきます。 民生委員と会長の連携により、精度の高い災害時要援護者リストの作成、保持に努めます。

■ 「みんなが笑顔、助け合いのまち高田」計画推進委員会

委員長： 内山 幹雄

副委員長： 宮田 光明

推進委員： 高田町連合町内会、高田地区社会福祉協議会、高田地区民生委員児童委員協議会